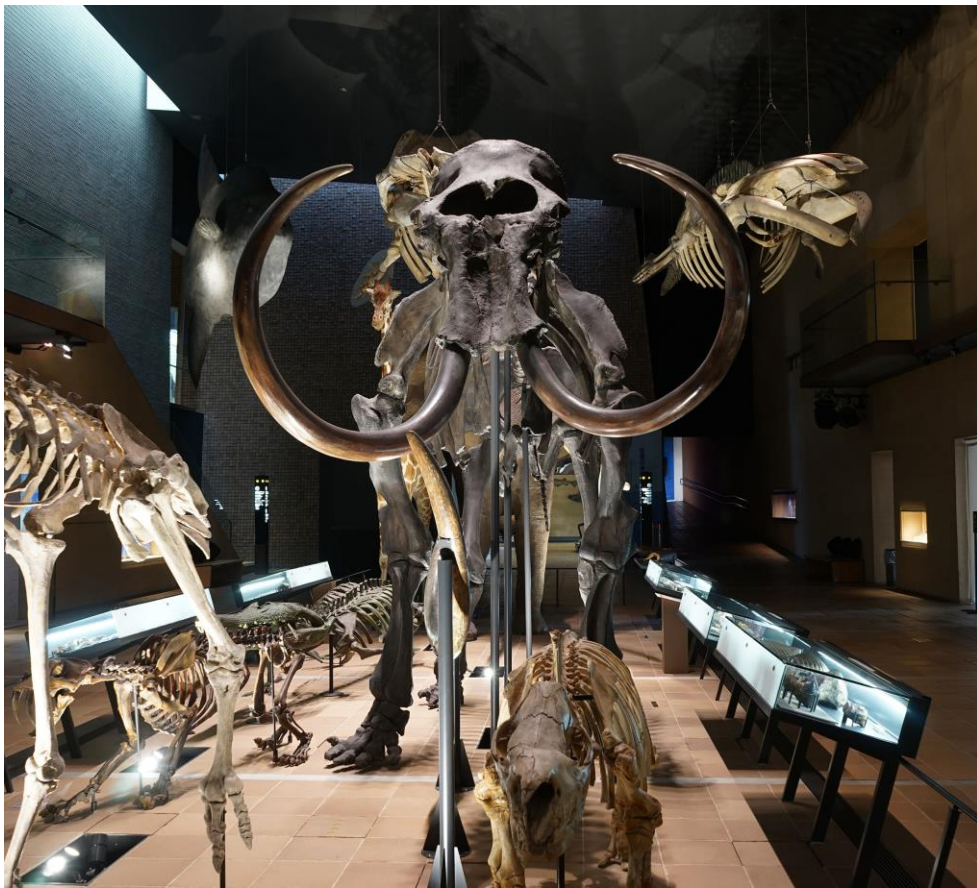


北九州市立自然史・歴史博物館  
(北九州市立いのちのたび博物館)

年報

平成27年度





## ごあいさつ

北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）は平成14（2002）年11月3日に開館し、開館10周年の節目にあたる平成24（2012）年12月から施設改修工事を行って、平成25（2013）年3月23日にリニューアルオープンしました。リニューアル後3年目となる平成27年度も、47万人をこえる方々にご来館いただき、入館者数は高い水準を維持しています。平成27年7月には開館からの総入館者500万人を達成しました。これもひとえに多くの方々にご支援・ご協力いただいた賜物であり、厚く御礼申し上げます。

当博物館は「自然と人間の関わりを考える共生博物館」を理念とし、展示を中心とした様々な活動を行っておりますが、その役割・使命はますます多様化しています。平成27年度には、本市の官営八幡製鐵所関連施設を構成資産として含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録され、当館でも関連する企画展を行いました。また、2年目を迎えた「ユニバーサルミュージアム化事業」では、新たな展示解説プログラムの開発と、その担い手としての人材育成に取り組みました。このような活動を通じて当館に求められる役割・使命を果たすとともに、さらなる「進化」を遂げられるよう職員一同努力していく所存です。

さて、本年度の年報を刊行いたします。博物館の活動概要を知っていただき、よりよい博物館を創り出していくため、積極的なご意見とさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年8月

北九州市立自然史・歴史博物館  
館長 上田恭一郎

# 北九州市立いのちのたび博物館「理念と方向性」

## <理 念>

自然と人間の関わりを考える共生博物館

- 1 博物館の展示に於いて示していく
- 2 教育・普及事業に於いて啓発を行う
- 3 資料収集、保存及び研究を進めていく

## <方向性>

知的アクセス権を保障する博物館——知的好奇心への対応

- 1 ミュージアム・ネット化構想を進める
- 2 常に開館している博物館「24時間ミュージアム」を推進する
- 3 知的な疑問や関心に責任を持って応える

セカンドスクールとしての博物館——将来への知的投資

- 1 学校等に対して誘致事業を推進する
- 2 学校教育の支援事業を強化、拡大する
- 3 家庭教育の支援事業を充実する

研究の成果を教育・普及に生かす博物館——社会への知的還元

- 1 知識と経験を生かし、質の高い展示と教育・普及事業を行う
- 2 知の集積施設として外部の委員・講師や他組織の指導・助言を行う
- 3 地域の特性を活かした研究を行い、広く情報を発信する

# 目次

ごあいさつ

北九州市立いのちのたび博物館「理念と方向性」

## 目次

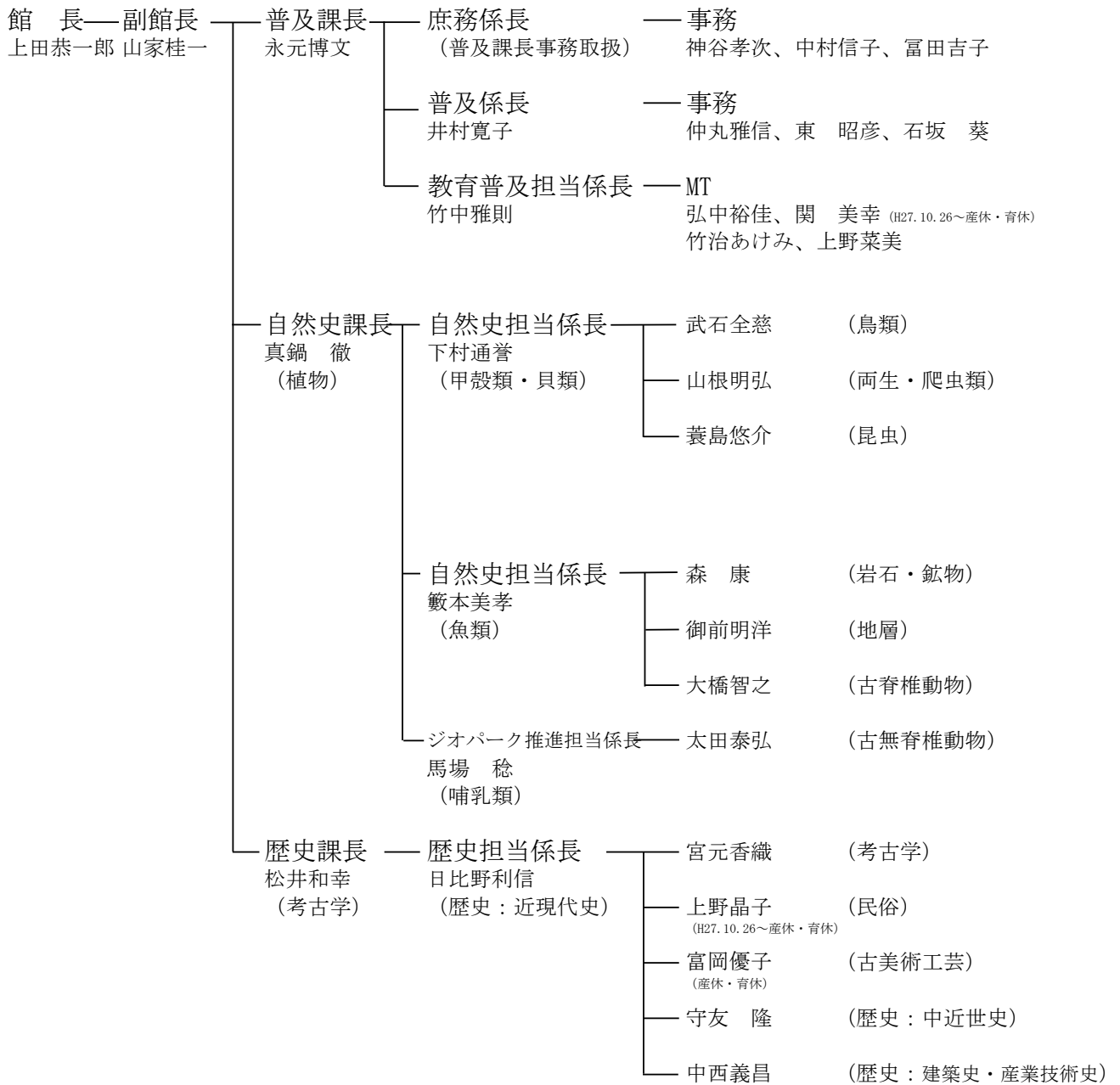
	頁
1. 組織・運営体制.....	1
2. 博物館協議会.....	2
3. 平成 27 年度予算.....	3
4. 施設概要.....	4
5. 沿革.....	5
6. 入館者の状況.....	8
7. 視察受け入れ状況.....	9
8. 報道一覧.....	10
9. 特別展.....	15
10. ぽけっとミュージアム：企画展・テーマ展等.....	20
11. その他の事業.....	23
12. 教育普及活動.....	33
13. 博物館ボランティア（シーダー）の活動.....	39
14. 自然史友の会の活動.....	40
15. 歴史友の会の活動.....	41
16. 資料の収集保存状況.....	42
17. 資料の特別観覧状況（自然史・歴史）.....	43
18. 資料の貸出状況（自然史・歴史）.....	43
19. 画像等資料の貸出状況（自然史・歴史）.....	44
20. 学芸員研究業績（自然史）.....	46
21. 学芸員研究業績（歴史）.....	49
22. 博物館刊行物.....	50



# 1. 組織・運営体制

## (1) 平成27年度組織

(平成27年6月末時点)



## 2) 名誉館員

太田 正道	(2002. 11. 3～)	藤丸 詔八郎	(2005. 4. 1～)	戸来 義臣	(2007. 4. 1～)
税田 昭徳	(2007. 4. 1～)	藤井 厚志	(2008. 4. 1～)	小野 勇一	(2010. 4. 1～)
岡崎 美彦	(2010. 4. 1～)	永尾 正剛	(2011. 4. 1～)	有川 宜博	(2012. 3. 1～)
上田恭一郎	(2013. 4. 1～)	伊藤 明夫	(2015. 4. 1～)		

## 2. 博物館協議会

### (1) 博物館協議会委員（任期 平成27年9月1日～平成29年8月31日）

会長	真鍋 真	国立科学博物館地学研究部生命進化史研究グループ グループ長
副会長	泉 優佳理	北九州市環境首都検定検討会構成員
	伊澤雅子	琉球大学理学部教授
	岩松文代	北九州市立大学文学部教授
	上山敬義	北九州市立高等学校校長
	緒方 泉	九州産業大学美術館教授
	木村洋子	一級建築士、東田まちづくり協議会メンバー
	佐藤睦子	学校法人梅光学院 梅光学院大学博物館学芸員
	染川香澄	ハンズ・オン プランニング代表
	三島美佐子	九州大学総合研究博物館准教授
	柳井貴義	北九州市立大蔵小学校校長

(平成27年10月29日時点)

### (2) 開催日時

平成27年10月29日（木） 13:30～16:00

### (3) 内容

#### 1) 平成26年度事業実績（博物館年報）について

ア 概要

イ 特別展開催実績

- ・「まるごと猫展」(H26. 3. 15～6. 1)
- ・「THE モンスター展」(H26. 7. 19～9. 23)
- ・「メタルズ！展」(H26. 11. 1～12. 23)
- ・「地球からの贈り物」(H27. 3. 21～5. 10)

ウ ユニバーサルミュージアム化事業

エ ジオパーク活動推進事業

#### 2) 平成27年度事業計画について

ア 概要

イ 特別展開催計画

- ・「スペイン奇跡の恐竜たち」(H27. 7. 11～9. 23)
- ・「医は仁術」(H27. 10. 10～H28. 1. 11)
- ・「大正・昭和の暮らしと風景」(H28. 1. 23～2. 28)
- ・「ふしぎの教室」(H28. 3. 19～5. 15)

ウ ユニバーサルミュージアム化事業

エ 東アジア友好博物館交流事業

オ ジオパーク活動推進事業

#### 3) 質疑応答



### 3. 平成 27 年度予算

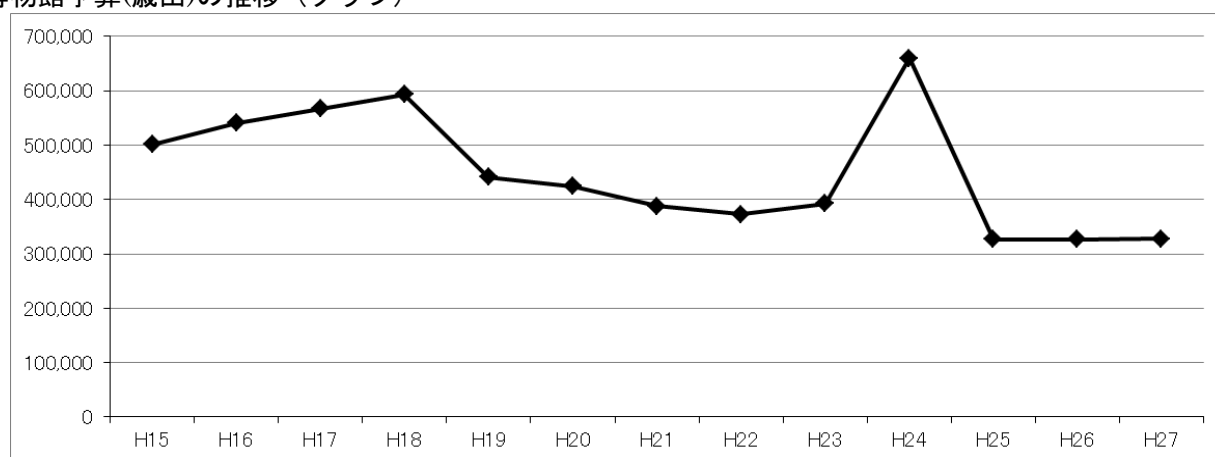
歳 入 (単位：千円)		歳 出 (単位：千円)	
博物館使用料 (常設展入館料、駐車場料金など)	126,409	企画展・特別展開催経費	54,409
社会教育施設目的外使用料 (ミュージアムショップ使用料など)	1,554	資料整備・調査研究経費	14,596
企画費雑入 (特別展観覧料、刊行物販売など)	38,952	教育普及経費	3,604
		博物館維持管理経費等	255,224
計	166,915	計	327,833

#### 博物館予算(歳出)の推移

(単位：千円)

年 度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
予算額	2,476,072	501,604	540,788	567,441	593,467	441,058	424,070	387,868
備 考	H14.11.3開館		内、太陽光発電設備整備 32,000	内、太陽光発電設備整備 60,000	内、太陽光発電設備整備 108,000			
年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
予算額	372,731	392,184	659,576	326,569	326,913	327,833		
備 考			内、博物館展示・施設等改修事業 300,000					

#### 博物館予算(歳出)の推移 (グラフ)



(単位：千円)

\*但し、平成 14 年度は除く。

## 4. 施設概要

構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨構造） 地上 3階  
各室面積

(単位：㎡)

室名	面積	室名	面積	室名	面積
展示部門	6,232	研究処理部門	871	管理部門	624
アースモール(PMを除く)	1,885	地学系研究室	57	館長室	25
ぼけっとミュージアム (PM)	253	生物系研究室 (植物・昆虫)	29	副館長室	25
エンバイラマ館 (リサーチゾーンを含む)	1,067	生物系研究室 (動物・魚類)	29	事務室	163
自然発見館 (バイオリウムを含む)	581	歴史研究室	87	応接室	32
ギャラリー館	509	骨格標本作成室	36	会議室	62
歴史展示(カルチャーモールを含む)	1,755	燻蒸室 (前室を含む)	30	印刷室・出版物保管室	29
こどもミュージアム (乳幼児対象)	89	解剖室	46	救護室	21
こどもミュージアム (小学生対象)	93	無脊椎動物化石処理室	30	更衣室	13
		脊椎動物化石処理室	30	一般倉庫	57
		岩石鉱物処理室	37	交流員控室	25
		昆虫標本処理室	30	管理人室	26
		動植物標本処理室	60	会議室 S	30
		液浸標本処理室	30	会議室 R	30
情報部門	1,018	技工室	60	会議室 X	49
		整理室	60	外来市民研究室	37
ホール (ホフ・ギャラリーを含む)	509	暗室 (前室を含む)	26		
ガイド館 (倉庫2を含む)	386	撮影室	41		
情報館	123	電子顕微鏡室	40		
		コンピューター室	28		
		保存科学室	40		
探究部門	204	薬品室・特殊薬品室	25		
実習室	123	シャワー室	6		
講座室	81	器材倉庫	14		
収蔵部門	2,506				
荷解室	96			サービス部門	463
一時保管室	64			ミュージアムショップ	156
組立室	52			休憩ルーム	206
冷凍室・冷蔵室 (前室を含む)	49			休憩デッキ	101
地学系収蔵庫	202				
液浸標本収蔵庫	221			供用部門	5,093
重量物収蔵庫	204				
植物標本収蔵庫	234				
動物標本収蔵庫	165				
昆虫標本収蔵庫	238				
模式標本収蔵庫	44				
歴史資料収蔵庫	430				
考古資料収蔵庫 (金属器を含む)	75				
特別収蔵庫	71				
古文書・古美術収蔵庫	140				
書庫	138				
展示準備室	83				
				合計	17,011

## 5. 沿革

- 昭和 50(1975)年 【歴史】8月 北九州市立歴史博物館開館(8/1)
- 昭和 51(1976)年 【歴史】1月 豊前修験道・英彦山展  
【自然史】5月 小学生の発見をきっかけに、山田弾薬庫跡地で世界最古のニシン料魚類化石ディプロミスタスが発掘される  
【歴史】10月 洞海湾の歴史展  
【自然史】10月 北九州産魚類化石展「北九州市の魚類化石～化石から見た北九州～」 主催：北九州市教委・北九州市産魚類化石展示実行委員会
- 昭和 53(1978)年 【自然史】4月 戸畑市民会館内に「自然史博物館開設準備室」設置  
【自然史】10月 マッコウクジラの生の骨が到着
- 昭和 54(1979)年 【自然史】1月 「北九州自然史友の会」が発会し、機関誌「わたしたちの自然史」の発行(1/7)
- 昭和 55(1980)年 【歴史】7月 日韓文化交流展～古代のロマンを求めて～
- 昭和 56(1981)年 【自然史】5月 北九州市立自然史博物館が八幡駅ビルの2・3・4階を仮施設として開館(5/2)
- 昭和 58(1983)年 【考古】8月 北九州市立考古博物館開館 九州最初の考古学専門館として小倉北区金田一丁目に開館(8/1)  
【歴史】10月 北九州のまつり芸能展
- 昭和 59(1984)年 【自然史】9月 友好都市締結5周年記念として、中国大連市の大連自然博物館で「世界の昆虫」展を開催  
【歴史】10月 北九州甲冑展～よろい・かぶとの歴史～  
【自然史】12月 響灘沖から巨大珪化木の引き上げ
- 昭和 60(1985)年 【歴史】10月 「小倉藩創始 細川家の歴史展」
- 昭和 61(1986)年 【自然史】8月 開館5周年記念特別展「中国の動物と恐竜の世界展」
- 昭和 62(1987)年 【歴史】10月 わが町の宝「北九州市の指定文化財展」
- 昭和 63(1988)年 【考古】8月 開館5周年記念「北九州の中国陶磁展」
- 平成 2(1990)年 【歴史】10月 関門の潮流展～翔けぬけた鎌倉武士たち～
- 平成 4(1992)年 【自然史】3月 開館10周年記念出版物として「山田緑地の自然」を発行
- 平成 5(1993)年 【考古】4月 考古博物館友の会発足  
【考古】10月 開館10周年記念「終末期の古墳展」
- 平成 7(1995)年 【考古】5月 展示解説ボランティア制度発足  
【歴史】8月 戦後50周年記念 北九州平和資料展～戦時下の市民の暮らし～
- 平成 8(1996)年 【自然史】7月 展示解説ボランティア制度発足  
【総合】10月 「東田地区文化施設整備構想検討委員会」(委員長 有馬朗人 東京大学名誉教授)が、「環境」を共通テーマとする自然史、産業科学、環境、歴史の4館からなるシャイン博物館構想「東田地区文化施設の整備の方向について」を報告
- 平成 10(1998)年 【考古】8月 開館15周年記念「西と東の縄文土器展」
- 平成 11(1999)年 【総合】6月 (仮称)北九州市立自然史博物館・歴史博物館起工
- 平成 12(2000)年 【歴史】10月 伊能忠敬と九州展
- 平成 13(2001)年 【総合】3月 (仮称)北九州市立自然史博物館・歴史博物館の建物が竣工
- 平成 14(2002)年 11月 北九州市立自然史・歴史博物館オープン(小野勇一館長)(11/3)  
開館記念特別展「セイスモサウルスとその世界」(11/3～12/28:56日間)
- 平成 15(2003)年 3月 開館記念特別展「COME BACK～よみがえれ文化と生きものたち～」(3/1～4/6:37日間)  
4月 特別展「ミネラルワールド九州・山口 わたしたちのまわりの鉱物展」(4/26～6/8:44日間:25,871人)  
7月 特別展「発見!虫王国」(7/19～8/31:44日間:79,687人)  
9月 特別展「恐竜時代の生き物たち」(9/19～10/13:25日間:12,828人)  
10月 特別展「発掘された日本列島2003」(10/26～11/30:36日間:11,260人)  
12月 企画展「絵で見る植物の世界」(12/6～12/23:18日間)
- 平成 16(2004)年 1月 企画展「博物館のお正月」(1/2～2/1:31日間)

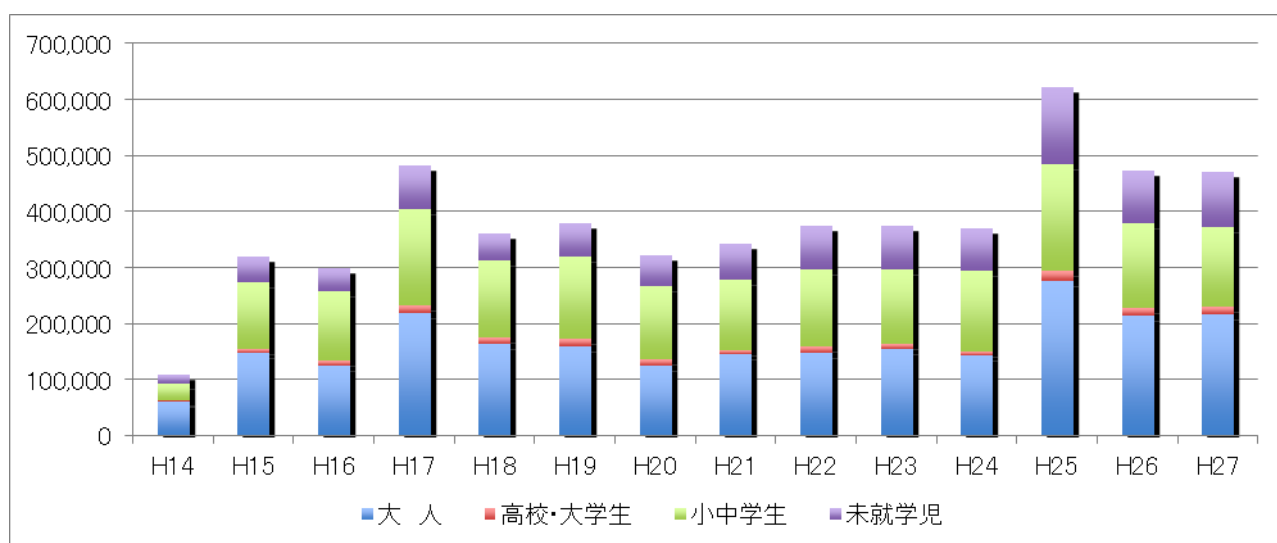
	3月	企画展「博多祇園山笠展～まつりにみる福岡の歴史～」(3/5～4/11：38日間)
	4月	特別展「葛飾北斎展」(4/23～5/23：31日間：14,262人)
	7月	特別展「からくり・ロボット体験ランド」(7/17～9/5：51日間：50,712人)
	10月	企画展「～片山正信氏の版画に見る～昭和の北九州百景」(10/1～12/26：87日間) 企画展「襤褸の世界～堀切辰一・布のいのち見つめて～」(10/8～11/28：52日間)
平成 17(2005)年	1月	特別展「古代都市誕生～飛鳥時代の仏教と国づくり～」(1/2～2/20：50日間：11,590人)
	3月	特別展「なぜ？なに？ 動物ワールド」(3/19～5/8：51日間：26,638人)
	7月	特別展「生きもの大集合 世界の両生・爬虫類展」(7/16～9/4：51日間：76,623人)
	10月	企画展「鶏民芸品展～秋篠宮コレクション～」(10/8～11/20：44日間) 入館者 100 万人達成！(10/26)
	11月	特別展「大名細川家～文と武の軌跡～」(11/18～12/11：24日間：3,739人)
	12月	特別展「恐竜博 2005～恐竜から鳥への進化～」(12/23～3/31：99日間：207,397人)
平成 18(2006)年	4月	企画展「化石王 三葉虫」(4/29～5/28：30日間)
	7月	特別展「昆虫ワールド・カップ 2006」(7/15～9/3：51日間：76,008人)
	9月	企画展「アイヌ文様の美～線のいのち、息づくかたち～」(9/23～11/26：65日間)
	12月	特別展「驚異の地下帝国 始皇帝と彩色兵馬俑展～司馬遷『史記』の世界～」(12/14～3/31：104日間：63,811人)
平成 19(2007)年	4月	企画展「有明海 干潟を育む生き物と文化～中尾勘悟写真展～」(4/15～5/6：22日間)
	7月	開館 5 周年記念特別展「世界最大の翼竜展～恐竜時代の空の支配者～」(7/7～9/2：58日間：96,103人)
	10月	開館 5 周年記念特別展「修験の歴史と自然～西日本の山の信仰～」(10/12～11/11：31日間：2,580人)
	12月	特別展「フェアブルにまなぶ」(12/22～2/11：52日間：18,658人)
平成 20(2008)年	3月	入館者 200 万人達成！(3/22) 企画展(開館 5 周年記念事業)「5 年間のあゆみ展」(3/22～4/6：16日間)
	4月	企画展「絵で見る植物界の多様性 原田英子植物画展」(4/19～5/11：23日間)
	7月	北九州市・仁川広域市姉妹都市提携 20 周年記念「近代北九州百年の歩み」於：仁川広域市立博物館(7/19～9/21：65日間) 特別展「シーラカンス展 ブラジルの化石と大陸移動の証人たち」(7/12～8/31：51日間：56,360人)
	8月	北九州市・仁川広域市姉妹都市提携 20 周年記念「開港場仁川の情景」於：いのちのたび博物館 ぼけっとミュージアム(8/2～10/5：65日間)
	10月	特別展「美しき九州の旅～「大正広重」初三郎がえがくモダン紀行～」(10/11～11/30：51日間：6,659人)
平成 21(2009)年	1月	特別展「小倉のお殿さま～小笠原家と城下町～」(1/2～2/8：38日間：6,513人)
	3月	企画展「ひとと海のものごと」(3/1～5/10：71日間)
	5月	企画展「自然史友の会って何？ 友の会 30 年のあゆみと活動」(5/23～6/14：23日間)
	7月	特別展「恐竜ラボ 2009～よみがえれ！恐竜ワールド～」(7/18～8/31：45日間：64,628人)
	9月	特別展「世界遺産ナスカ 地上絵の謎」(9/19～11/23：66日間：30,266人)
平成 22(2010)年	1月	特別展「布のこころ 受け継がれる母の想いとくらしの美」(1/2～2/21：51日間：6,567人)
	2月	大連市旅順博物館と友好交流に関する協定を締結(2/6)
	3月	特別展「どうぶつ大集合！肉食系？草食系？ なにをたべているのかな？」(3/20～5/30：72日間：28,327人)
	4月	伊藤明夫館長が就任
	7月	特別展「昆虫大接近！～みんなであそぼう・虫たちの森～」(7/17～9/5：51日間：71,641人)
	10月	特別展「禅寺広寿山の名宝～小倉にひらいた中国文化の華～」(10/9～11/28：51日間：4,881人)
	11月	仁川広域市立博物館および大連市旅順博物館と「東アジア友好博物館に関する合意書」調

		印 (11/5~7)
平成 23(2011)年	1月	特別展「古代メキシコ・オルメカ文明展 マヤへの道」(1/2~3/31 : 89 日間 : 22,598 人) 入館者 300 万人達成 ! (1/15)
	2月	入館者 300 万人達成記念「ありがとう祭」(2/11~13 : 3 日間)
	4月	特別展「エビとカニのふしぎ 杉浦千里博物画の世界」(4/23~5/31 : 39 日間 : 19,297 人)
	7月	特別展「世界の両生類・爬虫類大集合 !」(7/16~9/4 : 51 日間 : 74,797 人)
	10月	特別展「大連・モダンの風景 旅順博物館所蔵大連古写真展 / 鉄道展~あじあ号から新幹線へ~」(10/7~12/11 : 66 日間 : 11,493 人)
	12月	特別公開「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル」(12/22~12/25 : 4 日間 : 11,158 人)
平成 24(2012)年	1月	特別展「大内文化と北九州 戦国の世に花開く雅の世界」(1/2~2/12 : 42 日間 : 4,559 人)
	3月	特別展「アンモナイトのふしぎ~首長竜やモササウルスとの戦い~」(3/10~5/6 : 58 日間 : 25,121 人)及び「みんなで救った被災標本展」(同期間 : 6,857 人)
	7月	特別展「対決 ! 恐竜展」(7/14~9/23 : 72 日間 : 102,921 人)
	10月	特別展「いのちのたび博物館 10 年のあゆみ~とっておきのコレクションが勢ぞろい~」(10/20~12/2 : 44 日間 : 30,283 人)
	11月	開館 10 周年記念行事 (11/3-4)
	12月	リニューアル工事閉館 (12/3-翌 3/22)
平成 25(2013)年	3月	リニューアルオープン (3/23)
	4月	北九州市制 50 周年記念特別展「北九州市の宝もの」(4/20~6/16 : 58 日間 : 30,740 人)
	7月	北九州市制 50 周年記念特別展「世界の昆虫展」(7/13~9/1 : 51 日間 : 125,805 人) 入館者 400 万人達成 ! (7/25)
	9月	北九州市制 50 周年記念特別展「邪馬台国が見える !! 古代日本の原風景」(9/14~11/4 : 52 日間 : 20,990 人)
	12月	北九州市制 50 周年記念特別展「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」(12/21~28, 1/2~2/11 : 49 日間 : 24,852 人)
平成 26(2014)年	3月	特別展「まるごと猫展」(3/15~6/1 : 79 日間 : 54,700 人) 年間入場者 60 万人超達成 ! (3/31 : 622,701 人. 過去 10 年間 [H.15~24] の最多は平成 17 年度 483,495 人で、平均は 363,379 人)
	7月	特別展「THE モンスター展~自然界の怪物たち~」(7/19~9/23 : 67 日間 : 117,585 人)
	11月	特別展「メタルズ ! ~変容する金属の美~」(11/1~12/23 : 53 日間 : 11,448 人)
平成 27(2015)年	3月	特別展「地球からの贈り物~石の美と魅力~」(3/21~5/10 : 51 日間 : 26,182 人)
	7月	入館者 500 万人達成 ! (7/4) 特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」(7/11~9/23 : 75 日間 : 102,123 人)
	10月	いのちのたび博物館入館者 500 万人達成記念特別展「医は仁術~解体新書から iPS 細胞まで~」(10/10~翌 1/11 : 90 日間 : 20,058 人)
平成 28(2016)年	1月	特別展「大正・昭和の暮らしと風景~版画に見る / 布が語る~」(1/23~2/28 : 37 日間 : 6,535 人)
	3月	特別展「ふしぎの教室~よみがえる学校標本たち~」(3/19~5/15 : 58 日間 : 30,891 人)

## 6. 入館者の状況

	年度	大人	高校・大学生	小中学生	未就学児	年計	累計
入館者 総数 (人)	14	60,946 (55.1%)	2,677 (2.4%)	29,903 (27.0%)	17,096 (15.5%)	110,622 (100%)	162,527
	15	148,376 (46.2%)	7,950 (2.5%)	117,407 (36.5%)	47,692 (14.8%)	321,425 (100%)	483,952
	16	124,591 (41.5%)	9,262 (3.1%)	125,566 (41.8%)	40,644 (13.6%)	300,063 (100%)	784,015
	17	220,645 (45.6%)	11,699 (2.4%)	173,303 (35.9%)	77,848 (16.1%)	483,495 (100%)	1,267,510
	18	163,725 (45.2%)	12,630 (3.5%)	137,387 (37.9%)	48,549 (13.4%)	362,291 (100%)	1,629,801
	19	160,194 (42.2%)	12,771 (3.4%)	147,601 (38.9%)	58,881 (15.5%)	379,447 (100%)	2,009,248
	20	125,898 (39.0%)	10,487 (3.2%)	131,344 (40.7%)	54,997 (17.2%)	322,726 (100%)	2,331,974
	21	145,843 (42.5%)	8,151 (2.4%)	124,106 (36.1%)	65,290 (19.0%)	343,390 (100%)	2,675,364
	22	148,752 (39.6%)	10,516 (2.8%)	137,441 (36.6%)	78,881 (21.0%)	375,590 (100%)	3,050,954
	23	154,803 (41.2%)	8,933 (2.4%)	134,619 (35.8%)	77,299 (20.6%)	375,654 (100%)	3,426,608
	24	144,271 (39.0%)	7,267 (2.0%)	143,409 (38.8%)	74,764 (20.2%)	369,711 (100%)	3,796,319
	25	277,499 (44.6%)	16,837 (2.7%)	191,914 (30.8%)	136,451 (21.9%)	622,701 (100%)	4,419,020
	26	214,140 (45.1%)	13,880 (2.9%)	150,867 (31.8%)	96,052 (20.2%)	474,939 (100%)	4,893,959
	27	216,842 (45.9%)	14,645 (3.1%)	141,525 (30.0%)	99,377 (21.0%)	472,389 (100%)	5,366,348

※平成14年度は、11/3～11/10 無料期間 51,905 人を累計に含む。  
 ※平成24年度は、12/3～3/22 が改装工事で休館。



## 7. 視察受け入れ状況

### 平成27年度 視察訪問受け入れ状況

No.	月日	申請者	訪問者・団体	人数
1	5月16日	上下水道局海外・広域事業部	カンボジア国シェムリアップ水道公社研修生	6
2	6月5日	上下水道局海外・広域事業部	カンボジア国大使ほか	13
3	7月5日	議会事務局	札幌市議会 自民党・公明党	11
4	7月5日	上下水道局海外・広域事業部	カンボジア国政府関係者ほか	34
5	7月8日	西日本産業貿易コンベンション協会	コンベンションボランティア研修会	40
6	7月23日	議会事務局	四日市市議会政友会	7
7	7月30日	産業経済局観光課	タイ国元首相ほか	16
8	8月2日	わっしょい百万夏まつり振興会	釜山国際交流財団	82
9	8月5日	上下水道局海外・広域事業部	カンボジア国留学生	3
10	8月17日	西日本産業貿易コンベンション協会	国際会議オーガナイザー	2
11	9月10日	西日本産業貿易コンベンション協会	海外アドバイザー	3
12	10月10日	上下水道局海外・広域事業部	ミャンマー国研修生	7
13	10月22日	産業経済局国際ビジネス政策課	タイ国メディアなど	18
14	11月13日	広報室報道課	産業観光プレス	9
15	11月13日	産業経済局観光課	韓国光州市旅行者・メディアなど	25
16	12月2日	鞍手町教育委員会	鞍手町歴史民俗博物館	10
17	1月18日	産業経済局観光課	タイ国ブロガー	4
18	2月18日	鹿児島県立博物館	鹿児島県立博物館学芸指導員	3
19	2月18日	産業経済局観光課	西南女学院大学観光文化学科学生	2
20	2月24日	福岡県立北九州高等学校	福岡県立北九州高等学校生徒	4
21	3月1日	国立科学博物館	国立科学博物館職員	3
22	3月29日	倉敷市立自然史博物館	倉敷市立自然史博物館学芸員	1
23	3月30日	西日本産業貿易コンベンション協会	国際会議オーガナイザー	3

合計 306

## 8. 報道一覧

### (1) 平成27年度博物館関係報道状況記録(新聞)

NO.	掲載月日	新聞社名	内 容
1	4月3日	朝日	「地球からの贈り物」 イベント情報
2	4月4日	毎日	ガイドツアー好評 「地球からの贈り物」展 分かりやすく解説
3	4月8日	西日本	太古の不思議追いかけて アンモナイト研究に情熱
4	4月10日	朝日	「地球からの贈り物」 イベント情報
5	4月10日	産経	隕石、勾玉 800以上の石展示
6	4月11日	毎日	石の魅力を紹介 来場1万人突破
7	4月12日	読売	鉱物の美しさ体感
8	4月16日	朝日	歴史講演会
9	4月17日	朝日	「地球からの贈り物」 イベント情報
10	4月23日	毎日	宝石や鉱物など800点 あのロシア隕石も
11	4月29日	毎日	GWお出かけ案内
12	4月29日	朝日	第10回 小倉のおもしろ歴史文化塾-受講生募集
13	4月30日	毎日	大人も！子どもも！博物館で江戸遊び
14	5月1日	朝日	「地球からの贈り物」 イベント情報
15	5月1日	毎日	地球からの贈り物 展示品紹介 連載[1] 誕生石の原石に結晶美
16	5月2日	毎日	地球からの贈り物 展示品紹介 連載[2] 隕石は地球の「アルバム」
17	5月3日	毎日	地球からの贈り物 展示品紹介 連載[3] 愛らしい姿の「夫婦水晶」
18	5月4日	毎日	地球からの贈り物 展示品紹介 連載[4] 神秘に満ちた獣形勾玉
19	5月8日	毎日	地球からの贈り物 展示品紹介 連載[5] 最大級のブルーダイヤ
20	5月8日	朝日	「地球からの贈り物」 イベント情報
21	5月9日	毎日	特別展あす閉幕
22	5月10日	読売	ミュージアムウィーク
23	5月10日	西日本	ミュージアムウィーク
24	5月10日	毎日	ミュージアムウィーク
25	5月10日	朝日	ミュージアムウィーク
26	5月25日	西日本	「実物」を見せる発想で
27	5月25日	読売	スペインの恐竜 初公開
28	5月30日	毎日	恐竜“復活” サウロロフス全身骨格
29	5月30日	読売	サウロロフス 7000万年前の姿
30	5月31日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」
31	6月8日	日経	北海道の化石新成果
32	6月10日	毎日	「スペイン奇跡の恐竜たち」
33	6月13日	読売	1億2500万年前の恐竜 復元骨格
34	6月13日	毎日	肉食恐竜の骨格展示作業を公開
35	6月16日	西日本	恐竜骨格標本組み上げ
36	6月19日	読売	講座募集「植物細密画を描いてみよう！」
37	6月24日	読売	夏休み全国で恐竜出現
38	6月25日	毎日	「スペイン奇跡の恐竜たち」
39	6月25日	朝日	講座募集 いのちのたび博物館 自然史友の会講座
40	6月26日	西日本	講座募集「植物細密画を描いてみよう！」
41	7月5日	朝日	いのちのたび博物館 入館500万人
42	7月5日	読売	開館から入場500万人祝う
43	7月5日	毎日	いのちのたび博物館 入館者500万人 開館13年で達成
44	7月7日	読売	企画展
45	7月8日	西日本	東田地区の3施設で歴史ひもとく企画展
46	7月9日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
47	7月9日	読売	太古の迫力 2大産地の化石一堂に
48	7月10日	朝日	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
49	7月10日	毎日	「情熱の国」至宝 九州初上陸
50	7月10日	西日本	「スペイン奇跡の恐竜たち」



51	7月10日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
52	7月11日	朝日	来た奇跡の恐竜
53	7月11日	毎日	スペイン恐竜展 北九州市で開幕
54	7月11日	読売	迫力の全身骨格に驚き スペイン恐竜展
55	7月14日	朝日	八幡製鉄所めぐり歴史を展示
56	7月16日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
57	7月17日	朝日	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
58	7月17日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
59	7月23日	毎日	「スペイン奇跡の恐竜たち」
60	7月23日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
61	7月24日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
62	7月24日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」
63	7月25日	読売	迫力のナイトミュージアム
64	7月26日	毎日	恐竜の学芸員 鋭く展示解説
65	7月27日	読売	恐竜展 3会場で好評
66	7月30日	毎日	「スペイン奇跡の恐竜たち」 夏休みお出かけ案内
67	7月30日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
68	7月30日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
69	7月31日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
70	8月1日	読売	スペイン奇跡の恐竜たち 連載[上] 「奇妙」なこぶ コンカベナトール
71	8月2日	読売	スペイン奇跡の恐竜たち 連載[中] 220本の歯 ペレカニミムス
72	8月4日	読売	スペイン奇跡の恐竜たち 連載[下] 皮骨を持つティタノサウルス類
73	8月5日	読売	奇跡の恐竜展 入場者3万人
74	8月5日	毎日	「恐竜展」3万人目は熊本の小5
75	8月6日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
76	8月7日	朝日	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
77	8月13日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
78	8月20日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
79	8月21日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
80	8月22日	読売	スペイン恐竜展7万人突破
81	8月22日	毎日	来場者が7万人突破
82	8月24日	西日本	「スペイン奇跡の恐竜たち」
83	8月25日	読売	施設の臨時休業や催し延期 台風15号接近
84	8月27日	毎日	「スペイン奇跡の恐竜たち」
85	8月27日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
86	8月28日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
87	8月31日	読売	恐竜展 閉幕迫る
88	9月1日	毎日	スペイン奇跡の恐竜たち 展示品紹介 連載[1]うろこの痕残る足先
89	9月3日	毎日	スペイン奇跡の恐竜たち 展示品紹介 連載[2]羽毛付け生体復元
90	9月3日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
91	9月4日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
92	9月4日	朝日	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
93	9月6日	毎日	スペイン奇跡の恐竜たち 展示品紹介 連載[3]ダチョウ恐竜の仲間
94	9月6日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
95	9月7日	毎日	スペイン奇跡の恐竜たち 展示品紹介 連載[4]のど袋や、とさかの痕も
96	9月8日	毎日	スペイン奇跡の恐竜たち 展示品紹介 連載[5]白亜後期の大型竜脚類
97	9月10日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
98	9月11日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
99	9月11日	朝日	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
100	9月13日	読売	恐竜に囲まれ音楽楽しむ
101	9月15日	毎日	恐竜に思いはせ コンサート楽しむ
102	9月15日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
103	9月16日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
104	9月17日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
105	9月18日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
106	9月18日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報

107	9月19日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
108	9月19日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
109	9月20日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
110	9月20日	読売	写真で見る「産業革命遺産」
111	9月21日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
112	9月22日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
113	9月23日	読売	「スペイン奇跡の恐竜たち」 イベント情報
114	9月24日	毎日	医は仁術
115	9月29日	毎日	「医は仁術」って本当ですか？
116	10月9日	毎日	医は仁術 特別展 いのちのたび博物館 あす開幕
117	10月10日	毎日	「医は仁術」展が開幕
118	10月11日	毎日	「医は仁術」展が開幕
119	10月15日	朝日	秋の特別展「医は仁術」
120	10月16日	西日本	博物館とのコラボ企画 漫画が描く医の世界
121	10月22日	毎日	北九州・いのちのたび博物館 「医は仁術」
122	10月23日	朝日	「医は仁術」 イベント情報
123	10月26日	毎日	学校と私 人との出会い支えに
124	10月26日	西日本	いのちのたび博物館 医は仁術
125	10月30日	朝日	街の近く 楽しみ多彩な山
126	10月30日	朝日	「医は仁術」 イベント情報
127	11月3日	毎日	医は仁術 連載〈上〉患者塾「医は仁術」って本当ですか？
128	11月6日	毎日	各国がドラマ事情紹介
129	11月6日	朝日	「医は仁術」 イベント情報
130	11月10日	毎日	医は仁術 連載〈中〉患者塾「医は仁術」って本当ですか？
131	11月11日	毎日	医は仁術 展示品紹介 連載[1] はしか退散、絵に託す
132	11月12日	毎日	ロシナンテス川原さん講演
133	11月13日	毎日	医は仁術 展示品紹介 連載[2] 翻訳作業に3年半
134	11月13日	朝日	「医は仁術」 イベント情報
135	11月14日	毎日	医は仁術 展示品紹介 連載[3] 牛の角などで精巧に
136	11月17日	毎日	医は仁術 連載〈下〉患者塾「医は仁術」って本当ですか？
137	11月18日	毎日	医は仁術 展示品紹介 連載[4] 日本医学の転換期
138	11月20日	朝日	「医は仁術」 イベント情報
139	11月20日	毎日	特別展「医は仁術」
140	11月21日	毎日	医は仁術 展示品紹介 連載[5] 浮世絵で撰生説く
141	11月23日	西日本	広がる「名所でパーティー」博物館でジャズ生演奏
142	11月26日	毎日	医は仁術
143	11月27日	朝日	「医は仁術」 イベント情報
144	12月5日	毎日	「医は仁術」1万人突破
145	12月11日	朝日	「医は仁術」 イベント情報
146	12月16日	毎日	特別展 医は仁術を見て
147	12月18日	毎日	特別展 医は仁術を見て
148	12月18日	西日本	イベント情報
149	12月18日	朝日	「医は仁術」 イベント情報
150	12月24日	毎日	「医は仁術」
151	12月25日	朝日	「医は仁術」 イベント情報
152	12月26日	西日本	恐竜お掃除ドキドキ
153	12月26日	読売	恐竜の標本 すず払い
154	12月26日	毎日	子らの手で 恐竜年越し さっぱりと
155	12月26日	朝日	恐竜すず払い
156	12月30日	読売	年末年始お出かけ情報
157	12月31日	西日本	イベント情報
158	1月1日	毎日	日本の医学の歴史をたどる 特別展「医は仁術」
159	1月7日	朝日	2大肉食恐竜迫力の競演 恐竜博2016
160	1月8日	朝日	「医は仁術」 イベント情報
161	1月9日	西日本	「映画の街・北九州」PR 撮影誘致活動や実績を紹介
162	1月9日	朝日	5匹のサル剥製 来館者お出迎え

163	1月10日	毎日	「医は仁術」あす閉幕
164	1月23日	毎日	「大正・昭和の暮らし」展
165	2月5日	朝日	「大正・昭和の暮らしと風景」 イベント情報
166	2月8日	西日本	冬の特別展 大正・昭和の暮らしと風景
167	2月12日	朝日	「大正・昭和の暮らしと風景」 イベント情報
168	2月14日	朝日	ねこはすごい
169	2月19日	朝日	「大正・昭和の暮らしと風景」 イベント情報
170	2月25日	毎日	ふしぎの教室 来月19日開幕
171	2月25日	西日本	ねこはすごい
172	2月26日	朝日	「大正・昭和の暮らしと風景」 イベント情報
173	3月6日	毎日	ねこはすごい
174	3月12日	読売	北九州の銅矛 国重文に
175	3月12日	毎日	重留遺跡の銅矛 国重文に
176	3月12日	西日本	考古資料初の重文喜ぶ
177	3月12日	朝日	広形銅矛 国の重文に
178	3月17日	毎日	いのちのたび博物館・恐竜博士のシネマトーク
179	3月17日	朝日	恐竜の実態 博士が解説
180	3月17日	朝日	ふしぎの教室～よみがえる学校標本たち～
181	3月18日	朝日	「ふしぎの教室」 イベント情報
182	3月19日	毎日	「ふしぎの教室」 はきょう開幕
183	3月19日	朝日	「アールと少年」 T-ジョイ博多に T-レックスの実物大化石標本が展示中！
184	3月22日	西日本	映画の恐竜「博士」が解説
185	3月24日	毎日	老舗映画館の挑戦
186	3月24日	読売	「ふしぎの教室」 イベント情報
187	3月25日	読売	「ふしぎの教室」 イベント情報
188	3月25日	毎日	特集 ふしぎの教室 よみがえる学校標本たち
189	3月25日	朝日	「ふしぎの教室」 イベント情報
190	3月27日	毎日	土器に触れる体験イベント
191	3月28日	西日本	ふしぎの教室—よみがえる学校標本たち
192	3月31日	読売	「ふしぎの教室」 イベント情報
193	3月31日	朝日	「吾輩は猫である」の世界④ 猫キャラ 増殖のナゾ

## (2) 平成27年度博物館関係報道状況記録(テレビ・ラジオ)

NO.	報道月日	報道社名	番組名など	内 容
1	4月14日	クロス FM	イブニングライン北九州	春の特別展「地球からの贈り物」
2	4月21日	TNC	TNC ニュース	春の特別展「地球からの贈り物」
3	4月25日	Air Station Hibiki	Radio-Party	春の特別展「地球からの贈り物」
4	4月26日	FBS	こちら北九編集部！	春の特別展「地球からの贈り物」
5	4月28日	J:COM九州	市政番組「ニュース55北九州」	春の特別展「地球からの贈り物」
6	5月23日	Air Station Hibiki	Radio-Party	世界遺産関連
7	5月30日	RKB	ニュース	サウロロフス設営公開
8	6月5日	TNC	華丸・大吉のなんしよう？	博物館の紹介
9	6月12日	rkb ほか	ニュース	コンカベナトール設営公開
10	6月27日	Air Station Hibiki	Radio-Party	大阪夏の陣400年
11	6月28日	RKB	イベント NAVI	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」(告知)
12	7月4日	RKB	ニュース	入館者500万人達成
13	7月10日	RKB FBS NHK	ニュース	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」開会式
14	7月11日	RKB	報道特集	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
15	7月13日	RKB	今日感テレビ	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」(生中継)
16	7月15日	RKB ラジオ	ウメ子食堂	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」(中継)
17	7月18日	RKB	イベント NAVI	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
18	7月18日	RKB ラジオ	ゆき☆うきうき	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
19	7月19日	RKB	今日感テレビ日曜版	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」(生中継)

20	7月20日	RKB	今日感テレビ	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
21	7月24日	RKB ラジオ	歌のない歌謡曲	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
22	7月25日	Air Station Hibiki	Radio-Party	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
23	7月25日	RKB	ニュース	夏の特別展イベント ナイトミュージアム
24	7月25日	RKB	イベント NAVI	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
25	7月25日	RKB ラジオ	川上政行のバイキング	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
26	7月26日	RKB	サンデーウォッチ	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」(生中継)
27	7月27日	RKB	Pパラダイス	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
28	7月28日	RKB	今日感ニュース	夏の特別展イベント ナイトミュージアム
29	8月1日	RKB	イベント NAVI	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
30	8月2日	RKB	今日感テレビ日曜版	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
31	8月4日	RKB	ニュース	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」入場者3万人達成
32	8月6日	RKB	今日感テレビ	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
33	8月8日	RKB	イベント NAVI	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
34	8月12日	RKB	イベント NAVI	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
35	8月13日	RKB	今日感テレビ	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
36	8月13日	RKB	イベント NAVI	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
37	8月21日	RKB	ニュース	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」入場者7万人達成
38	8月22日	Air Station Hibiki	Radio-Party	化石の話(スペインの恐竜展関連)
39	8月31日	RKB	Pパラダイス	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
40	9月7日	RKB	Pパラダイス	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
41	9月12日	RKB	イベント NAVI	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
42	9月14日	RKB	Pパラダイス	夏の特別展「スペイン奇跡の恐竜たち」
43	9月26日	Air Station Hibiki	Radio-Party	体験プログラム紹介
44	10月9日	RKB NHK	ニュース	秋の特別展「医は仁術」開会式
45	10月16日	RKB	今日感テレビ	秋の特別展「医は仁術」
46	10月24日	Air Station Hibiki	Radio-Party	わたり鳥
47	11月4日	RKB	ニュース	秋の特別展「医は仁術」
48	11月4日	RKB	ニュース	秋の特別展「医は仁術」入場者1万人達成
49	11月9日	RKB	今日感テレビ	秋の特別展「医は仁術」
50	11月13日	RKB	ニュース	秋の特別展関連イベント ロシナンテス川原氏講演
51	11月15日	スカパー!	SPEED FRONT LINE	博物館の紹介
52	11月17日	J:COM九州	コミュニティチャンネル ほか	ナショジオ オープンキャンパス2015
53	11月28日	Air Station Hibiki	Radio-Party	秋の特別展「医は仁術」
54	12月26日	Air Station Hibiki	Radio-Party	冬の特別展「大正・昭和の暮らしと風景」
55	1月30日	Air Station Hibiki	Radio-Party	企画展「北九州と明治日本の産業革命」
56	2月27日	Air Station Hibiki	Radio-Party	春の特別展「ふしぎの教室」
57	3月18日	RKB KBC	ニュース	春の特別展「ふしぎの教室」開会式
58	3月26日	Air Station Hibiki	Radio-Party	春の特別展「ふしぎの教室」
59	3月28日	クロスFM	イブニングライン北九州	春の特別展「ふしぎの教室」

## 9. 特別展

### (1) 「地球からの贈り物～石の美と魅力～」

期 間：平成 27 年 3 月 21 日（土・祝）～平成 27 年 5 月 10 日（日）  
51 日間（前年度からの継続事業）

会 場：ギャラリー一館

入 場 料：大人 500 円（団体 400 円）、高・大生 300 円（同 240 円）、  
小・中生 200 円（同 160 円）、未就学児無料

観覧者数：26,182 名（前年度入場者含む）

担当学芸員：森 康、宮元香織

主 催：北九州市立いのちのたび博物館、毎日新聞社

協 力：伊都国歴史博物館、糸島市教育委員会、ウイステリアジ

ュエリーメイキングスタジオ、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、

鹿児島県教育委員会、香春町教育委員会、北九州市芸術文化

振興財団埋蔵文化財調査室、北九州市立いのちのたび博物館

自然史友の会、九州産業大学芸術学部金属工芸研究室、佐賀県教育委員会、産業技術総合研究所

地質標本館、直方市教育委員会、福岡教育大学美術教育講座金属工芸研究室、福岡県教育委員会、

福岡市教育委員会、文化庁、南さつま市教育委員会、宗像市教育委員会



#### 概 要

鉱物の多様性と人との関係をテーマに、特に「美しさ」と「魅力」をキーワードとした特別展である。自然史の側面からは、隕石・岩石・鉱物の標本を展示して自然の造形美を紹介したほか、鉱物を作り出す地学現象を解説した。歴史および人文の側面からは、石製玉類などの考古遺物、現代の宝石および原石、金属鉱石および金属工芸作品などを展示し、人が鉱物に抱く魅力について話題を展開した。1,000点を越えるバラエティ豊かな展示物を展示したことで自然史と歴史を融合させた斬新な内容となったため、幅広い年代と客層の来館者を得られた。また、来館者の滞在時間が従来の特別展に比べて長く、高い関心を集めたことがうかがえる。

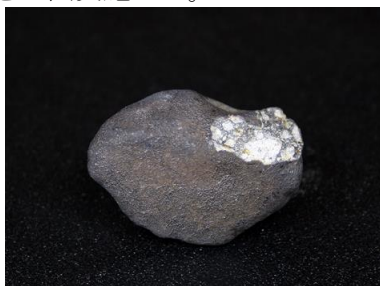
#### 主な展示標本

地球の形成史や大地の躍動を解説する資料として、太陽系最古の鉱物粒子を含むアエンデ隕石、地球最古の大陸地殻であるアカスタ片麻岩など、隕石・岩石標本約 100 点を展示した。鉱物の多様性と美しさを解説する資料として、水晶の“ハート型”日本式双晶や輝安鉱の大型結晶を含む鉱物標本約 600 点を展示した。鉱物と人との関係を解説する資料として、九州出土の代表的な玉類など約 80 件（国指定重要文化財 11 件を含む）、カット石など宝石関連資料約 230 点、福岡在住の金工作家の作品など金属関連資料約 30 点を展示した。このほか、ハンズオン資料 4 点、小惑星イトカワ関連資料 4 点（会場外）を展示した。

#### 関連事業

会場にて「ナイトミュージアム～闇夜に輝く秘宝を探せ！～」を 3 回、ガイドツアー「鉱物のひ・み・つ」および「ヒスイのひ・み・つ」を各 8 回実施した。実習室における室内講座として「小さな鉱物を大きく見よう」を 1 回、「ガラス玉をつくって！まなぶ！」を 3 回、「勾玉をつくって！まなぶ！」を 2 回実施した。

（森 康）



## (2) 「スペイン奇跡の恐竜たち展」

期 間：平成 27 年 7 月 11 日（土）～平成 27 年 9 月 23 日（水・祝） 75 日間  
会 場：ギャラリー館、オープンギャラリー  
入 場 料：大人 900 円（団体 720 円）、高・大生 600 円（同 480 円）、小・中生 400 円（同 320 円）、未就学児無料  
観覧者数：102,123 名  
担当学芸員：大橋智之  
主 催：北九州市立いのちのたび博物館、読売新聞社、毎日新聞社、RKB 毎日放送  
後 援：スペイン大使館、福岡県教育委員会、NHK 北九州放送局  
特別協力：スペイン教育・文化・スポーツ省、カスティーリャ＝ラ・マンチャ州、カスティーリャ＝ラ・マンチャ州立科学博物館、マドリード自治大学、スペイン国立通信教育大学  
学術協力：福井県立恐竜博物館  
協 力：大阪市立自然史博物館、国立科学博物館、北海道大学総合博物館、栃木県立博物館、丹波竜化石工房 ちーたんの館、ビッグベアーズフーズサービス

特別協賛：全労済福岡県本部

### 概 要

スペインの白亜紀前期と後期の「奇跡的な」保存状態の恐竜をはじめとする生物の実物化石中心に約 200 点の標本を展示し、スペインの恐竜の進化、生態を現生生物との比較も踏まえて紹介。恐竜の生きている様子を復元した CG 映像や解説パネルも多数設置し、貴重な実物化石を観覧する機会と、わかりやすく知識を得られるよう展示を構成。

### 主な展示標本

日本初公開の肉食恐竜コンカベナトール実物化石、ペレカニムス実物化石（日本初公開）、研究中のティタノサウルス類実物化石、同時代の植物・昆虫・魚類・爬虫類・鳥類等の実物化石多数。スペインの恐竜と比較できるようフクイラプトルなど恐竜骨格標本、現生鳥類、爬虫類、哺乳類の剥製等。

### 関連事業

7 月 24 日（金）、8 月 28 日（金）の午後 6 時半～8 時までナイトミュージアムを開催。各回 400 名定員だったが申込多数のため（2 回目は申込者数 2,259 名）、それぞれ 500 名・550 名を当選とする対応。会期中の週末 5 回午後 2 時から 30 分間会場内でギャラリートークを開催。9 月 12 日（土）午後 7 時～8 時までアースモールで恐竜コンサートを開催。9 月には学校団体は 100 円追加で特別展鑑賞が可能なサービスを提供し、11 団体 698 人が入場。

（大橋智之）



### (3) 「医は仁術～解体新書から iPS 細胞まで～」

期 間：平成 27 年 10 月 10 日（土）～平成 28 年 1 月 11 日  
（月・祝） 90 日間

会 場：ギャラリー館

入 場 料：大人 1,200 円（団体 960 円）、高・大生 900 円（同 720 円）、小・中生 450 円（同 360 円）、未就学児無料

観覧者数：20,058 名

担当学芸員：松井和幸、上野晶子

主 催：北九州市立いのちのたび博物館、毎日新聞社、RKB 毎日放送

後 援：日本医師会、福岡県医師会、福岡県歯科医師会、福岡県薬剤師会、北九州市医師会、北九州市歯科医師会、北九州市薬剤師会、九州栄養福祉大学、九州歯科大学、九州大学、久留米大学、産業医科大学、西南女学院大学、福岡大学、福岡県教育委員会、北九州市教育委員会

企 画：国立科学博物館、TBS

特別協賛：久光製薬

#### 概 要

現代から江戸時代にタイムスリップした医師が、医療器具や薬が満足にない中で命を救ったり、医術を通して人々と交流する「JIN—仁」は、村上もとかさん原作の大ヒット漫画で、TBS でドラマ化され注目をあびた。

「仁」とは、儒教で重視された“他を想う心”のことで、「医は仁術なり」は医療に関わる人たちの基本的な理念として受け継がれてきた。「医は仁術」展は、この精神を軸に、江戸時代の病気に対する人びとの思想や、現代にいたる医学の発展を紹介し、江戸から未来へと俯瞰する総合的な展示であった。また、地元九州の医学史に係わる史料も展示した。

熱心に展示史料を見学される方が多く、来館者の滞留時間が非常に長い特別展であった。またお礼のものがきをいただくなど、従来の特別展にない反響のあった展示であった。

図 録 A4 判、カラー156 頁（公式ガイドブック 国立科学博物・TBS テレビ制作）

関連事業 記念講演会やギャラリートーク(毎週日曜日)等を実施した。

10 月 10 日 「医は仁術」について 鈴木一義、「日本の医学と九州」 酒井シズ

10 月 17 日 患者塾

11 月 13 日 ロシナンテス 川原尚行「イスラムの国・スーダンで実践する「医は仁術」

11 月 28 日 杉本直樹「ギャラリートーク&講演会」

(松井和幸)



会場風景（会場入り口）



会場風景（ギャラリートーク）

#### (4) 「大正・昭和の暮らしと風景～版画に見る／布が語る～」

期 間：平成 28 年 1 月 23 日（土）～平成 28 年 2 月 28 日（日）  
37 日間

会 場：ギャラリー館

入 場 料：常設展入場料で観覧可能

観 覧 者 数：6,535 名

担当学芸員：日比野利信

主 催：北九州市立いのちのたび博物館

#### 概 要

「北九州のまちと暮らし—片山正信の版画作品集より—」および「布が語る暮らしと心—堀切辰一コレクション「襤褸」より—」の二部構成。前者は北九州の風景を描き続けた版画家片山正信氏の作品 205 点、後者は庶民生活史研究家の堀切辰一氏が収集した古布資料「襤褸」（らんる）60 点によって、大正・昭和のまちの風景や人びとの暮らしと心情を探った。いずれも博物館（歴史系）の代表的コレクションで、とりわけ「襤褸」は資料目録続編全 3 巻の完結を記念しての開催とした。

#### 関連事業

内覧会の際に堀切氏ご自身による展示解説会を実施。また希望する団体・グループに対して予約制で担当学芸員の展示解説を行った（11 回）。これはユニバーサルミュージアム化事業（本年報 26～29 ページ）の一環でもある。

- |             |             |                            |
|-------------|-------------|----------------------------|
| 2 月 5 日（金）  | 13:30～14:30 | 小倉織勉強会 16 名                |
| 2 月 10 日（水） | 9:30～15:00  | 永犬丸中学校 1 年生×4 回 生徒 293 名   |
| 2 月 23 日（火） | 11:00～12:00 | 養護老人ホーム正寿園 7 名（うち 3 名職員）   |
| 2 月 24 日（水） | 13:30～14:30 | 八幡デイサービスセンター 6 名（うち 2 名職員） |
| 2 月 25 日（木） | 9:45～10:20  | ケアハウス八幡 13 名（うち 3 名職員）     |
| 2 月 25 日（木） | 10:20～11:00 | 養護老人ホーム西峰園 10 名（うち 6 名職員）  |
| 2 月 25 日（木） | 11:00～12:00 | 養護老人ホーム正寿園 7 名（うち 3 名職員）   |
| 2 月 26 日（金） | 11:00～12:00 | 養護老人ホーム正寿園 7 名（うち 3 名職員）   |

（日比野利信）



学芸員による展示解説の様子



北九州のまちと暮らし 展示風景



## (5) 「ふしぎの教室～よみがえる学校標本たち～」

期 間：平成 28 年 3 月 19 日（土）～平成 28 年 5 月 15 日（日）  
58 日間（次年度への継続事業）

会 場：ギャラリー館

入 場 料：大人 500 円（団体 400 円）、高・大生 300 円（同 240 円）、  
小・中生 200 円（同 160 円）、未就学児無料

観覧者数：30,891 名（次年度終了時点）

担当学芸員：馬場 稔、宮元香織

主 催：北九州市立いのちのたび博物館、毎日新聞社

後 援：福岡県教育委員会、NHK 北九州放送局

### 概 要

かつて学校の資料室には豊富な標本が整備されていた。近年、その利用の機会が減少しており、学校での保管も困難になりつつある。当館は可能なかぎりこれらの標本を受け入れてその有効利用に努めており、この特別展では、近年では入手しにくくなっている種類やおどろくほど巧妙に作られた標本などを、博物館が入手した新しい資料とともに紹介した。

木造校舎を模した会場造作とし、実際に学校で利用されていた標本であることから年配の来館者にはノスタルジーを、若い世代には新鮮な驚きを感じてもらえることができたものと思われる。

### 主な展示標本

生きものの多様性を示す「動物のふしぎ」、からだの中をつくりをみる「からだのふしぎ」、標本から環境の変化を考える「植物のふしぎ」、地球のなりたちを実感する「大地のふしぎ」、そして、生徒たちによって収集・保存された歴史的な資料を紹介する「むかしのふしぎ」と、大きく五つのコーナーで展示を構成した。

100 年以上も前に捕獲されたクロツラヘラサギ剥製標本など今では希少になっている種類をはじめ各分類群の代表的な標本、様々な動物の解剖標本や骨格標本・組織標本、1900 年代および 1950 年代に採集された植物標本、南極の石や金銀鉱石等貴重な標本を含む多数の岩石・鉱物、梅花石やヤマトオサガニなど地元で発掘された化石、そして高等学校の生徒たちが発掘した考古学資料など、300 点以上の標本を展示した。全長 3m をこえる巨大なホッキョクグマ毛皮など市民から寄贈された資料もあわせて紹介した。

どの年代にも楽しんでいただけるように、触ることができる標本、土器パズル、クイズラリーやおりがみなど、参加型の企画も準備した。

### 関連事業

会期中「ナイトミュージアム」を 2 回、会場にて特別授業と題する学芸員による模擬授業を計 18 回、アンモナイトのレプリカや勾玉づくりなどのワークショップを計 12 回など展示以外でも楽しめる多くのイベントを実施した。

(馬場 稔)



## 10. ぽけっとミュージアム：企画展・テーマ展等

### (1) 「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産登録応援企画展「炭鉱の記録と記憶」

期 間：平成27年4月11日（土）～6月21日（日）

会 場：ぽけっとミュージアムNo.10～11

入場料：常設展入場料で観覧可能

#### 概 要

世界文化遺産登録を目指す「明治日本の産業革命遺産」では、石炭産業では三池と高島が構成資産となったが筑豊は除外された。しかし構成資産である八幡製鐵所、さらに北九州市の産業発展を考える際に筑豊の石炭は決定的に重要である。市内にもかつて大辻炭鉱（八幡西区）や小倉炭鉱（小倉北区）などがあつたがあまり知られていない。そこで筑豊と北九州の炭鉱を採り上げ、筑豊の炭鉱労働や生活を記録した山本作兵衛（1892～1984）最大の炭鉱記録画の原画や大辻・小倉両炭鉱の記憶を伝えようとする地元の人びとの活動と関連資料を紹介した。筑豊・北九州の石炭業の実像を明らかにし、北九州一日本の産業発展に果たした役割を考え「明治日本の産業革命遺産」に対する理解と関心を喚起することを目指した。

（日比野利信・中西義昌）



### (2) 世界文化遺産登録記念展「世界遺産のまち 北九州と明治日本の産業革命」

期 間：平成27年7月4日（土）～平成28年4月6日（水）

会 場：ぽけっとミュージアムNo.9～11

入場料：常設展入場料で観覧可能

#### 概 要

北九州市および中間市所在の八幡製鐵所4施設も構成資産である「明治日本の産業革命遺産—造船、製鉄・鉄鋼、石炭産業—」の世界文化遺産登録を記念した展覧会。明治以降工業・港湾都市として発展し、日本の近代化を支えた「世界遺産のまち」北九州の近代史を3つのテーマでひもとき、「明治日本の産業革命遺産」の歴史的背景や意義を考えた。

#### 1) 安川・松本家と北九州【No.9】

官営製鐵所誘致の立役者である安川敬一郎と安川・松本家の北九州における足跡と役割を紹介し、「明治日本の産業革命」と北九州の関わりを示した。

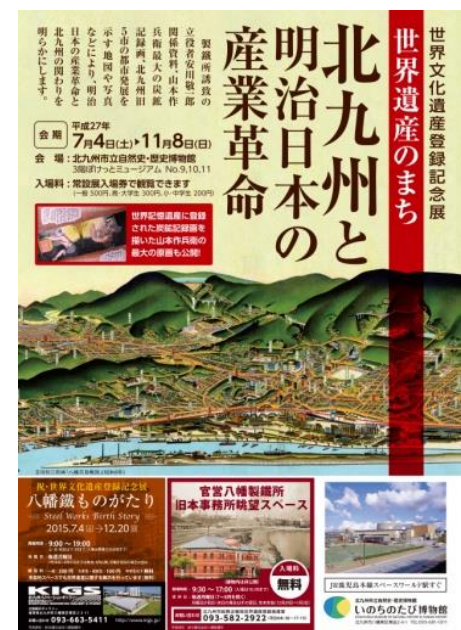
#### 2) 炭鉱の記録と記憶【No.10】

田川市の作品がユネスコの世界記憶遺産となった山本作兵衛の炭鉱記録画。博物館が所蔵する最大の炭鉱記録画を中心に、製鐵所とも密接に関わる筑豊の石炭業の記憶をひもといた。

#### 3) 北九州の都市発展【No.11】

「明治日本の産業革命」の中で、工業・港湾都市として著しい発展を遂げた北九州の近代史を地図や写真を中心に示した。また北九州市内に残る近代化遺産も紹介した。

（日比野利信・中西義昌）



### (3) 「変わる私たちの暮らし」

期 間：平成 27 年 11 月 14 日（土）～平成 28 年 4 月 10 日（日）

会 場：ぼけっとミュージアム No. 11

入場料：常設展入場料で観覧可能

#### 概 要

小学校社会科単元「さぐってみよう昔の暮らし」に即し、北九州の地域に暮らしてきた人々の生活について、古い道具やそれを使っていた頃の暮らしの様子についての展示を行った。展示資料は、教科書の内容にそって明治から昭和にかけての生活道具類を中心に選定した。

今回の展示では、昔の暮らしの様子をイメージできるように、昭和の居間を再現するだけではなく、明治時代以降の北九州市の学校給食を食品サンプル模型を用いて紹介するコーナーを中央に設置した。また、道具の選定では、つい最近まで使用されてきたラジオ・レコード・ラジカセ・ブラウン管テレビ・固定式電話などの電化製品を選んで展示を行った。また、現在の道具と比べたクイズパネルやハンズオンとして「火のし」と「黒電話」を用意し、現在使用している道具との違いや使い方を考えさせる工夫を行った。この他、むかし遊びのコーナーも併せて設置した。（中西義昌）



### (4) 企画展「教授を魅了した大地の結晶-北川隆司 鉱物コレクション 200 選-」

期 間：平成 27 年 4 月 11 日（土）～平成 27 年 7 月 12 日（日）

会 場：ぼけっとミュージアム No.9

入場料：常設展入場料で観覧可能

#### 概 要

広島大学の北川隆司教授（故人）が生涯にわたって収集した鉱物コレクション約 2,000 点の中から良質な標本約 200 点を選び、鉱物の魅力を広く伝えることを目的として展示した巡回展。日本鉱物科学会・日本粘土学会・日本結晶学会との共催、国立科学博物館の協力により、特別展「地球からの贈り物～石の美と魅力～」の関連展示として開催した。特別展が国内産の標本を主体として成因別に展示したのに対し、この企画展は主に外国産の美しい大型結晶標本を分類別に展示し、鉱物の魅力を多面的に示した。（森 康）



### (5) 自然史ぼけっとミュージアム展示

期 間：継続中

会 場：ぼけっとミュージアム No. 1～8

#### テーマ

ぼけっとミュージアム No. 1：地球と生命

ぼけっとミュージアム No. 2：細胞のひみつ

ぼけっとミュージアム No. 3：大連市との交流

ぼけっとミュージアム No. 4：アンモナイト

ぼけっとミュージアム No. 5：世界の海の貝

ぼけっとミュージアム No. 6：カエルとサンショウウオ

ぼけっとミュージアム No. 7：昆虫の世界

ぼけっとミュージアム No. 8：きたきゅうしゅうの多様な大地、地震のしくみ

## (6) 年末(クリスマス) 展示

期 間：平成 27 年 11 月 27 日(金)～12 月 25 日(金)  
(新年祝賀用装飾は平成 28 年 1 月 15 日(金)まで)

会 場：常設展恐竜デッキ

入場料：常設展入場料で観覧可能

### 概 要

クリスマスに合わせてトナカイ剥製標本にそのりの模型をとりつけ、サンタクロースの衣装を準備して写真撮影が可能ないように設置した。クリスマス後はトナカイ標本を撤去、文言を修正して新年祝賀用の装飾とした。



(馬場 稔)

## (7) 年始(干支) 展示

期 間：平成 27 年 12 月 26 日(土)～平成 28 年 1 月 15 日(金)

会 場：エントランス

入場料：無料

### 概 要

平成 28 年の干支である申(サル)にちなみ、世界の代表的なサル類剥製標本を展示した。展示資料はキツネザルの仲間のワオキツネザル、類人猿の一種クロステナガザル、広鼻猿類からリスザルとフサオマキザル、狭鼻猿類で北限のサルでもあるニホンザルの 5 種とした。



(馬場 稔)

## (8) 北九州市立自然史・歴史博物館と釜山広域市 海洋自然史博物館の交流実績の紹介展示

期 間：平成 28 年 3 月 19 日(土)～平成 28 年 5 月 15 日(日)

会 場：オープンギャラリー

入場料：無料

### 概 要

当館と釜山広域市海洋自然史博物館は平成 23 年 8 月に共に協力し、両博物館の展示や研究に関する相互協力などを目的として合意書調印を行った。これまでの約 5 年間の交流実績をパネルで展示した。合意書調印式、国際交流展、交流会議などについて紹介した。



(下村通誉)

## 1.1. その他の事業

### (1) 東アジア友好博物館交流事業

当館は北九州市の姉妹都市である韓国・仁川広域市の仁川広域市立博物館、友好都市である中国・大連市の旅順博物館と「東アジア友好博物館に関する合意書」を締結し（平成22年11月5日）、毎年館長会議を開催するとともに、学芸員の派遣や展示交流などを継続的に実施している。

平成22年度には公益財団法人カメイ社会教育振興財団の助成により、当館学芸員が両博物館で資料調査を実施した。平成23年度は文化庁「平成23年度在外日本古美術品に係る博物館・美術館研究協力事業及びアジアの博物館・美術館交流事業」の助成により、旅順博物館員を招聘し、写真資料の保存活用に関する調査を行った。平成24年度は文化庁「平成24年度博物館相互交流事業」の助成により、仁川広域市立博物館員を招聘し、日韓の博物館の教育普及プログラムの比較調査を行った。平成23年度には上述した資料調査に基づき、北九州市立自然史・歴史博物館で特別展「大連・モダンの風景―旅順博物館所蔵大連古写真展」を開催し、旅順博物館所蔵の南満洲鉄道株式会社撮影写真を日本初公開した。平成25年度には北九州市制50周年記念展として「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」を開催し、青銅鏡・陶磁器・絵画・調度品など両国の工芸品を精選して紹介した。この間平成24年度から26年度まで各館持ち回りで巡回企画展を開催し、図像資料を中心とするパネルおよび複製により各都市の近代史を紹介してきた。

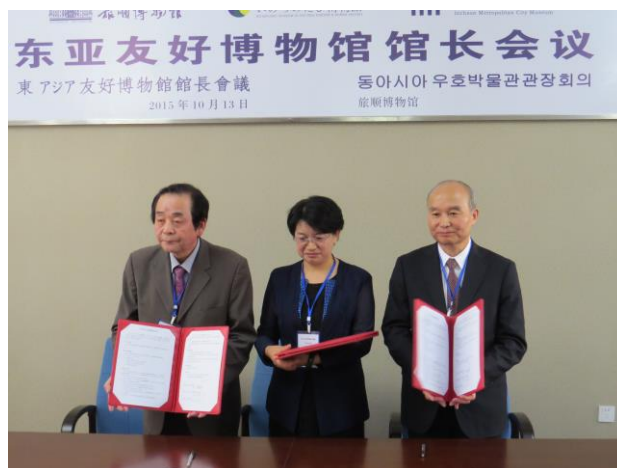
平成27年度は第6回実務者会議（館長会議事前協議）が平成27年7月16日、第5回館長会議が10月13日とともに旅順博物館で開催された。実務者会議には日比野歴史担当係長と守友学芸員が、館長会議には上田館長と松井歴史課長、守友学芸員が出席した。

館長会議では「合意書」の有効期間（5年間）が平成27年11月4日をもって終了するに伴って、交流を継続・推進するため新たな「合意書」を締結した。有効期間は6年間、主たる事業は隔年での「巡回展」の開催である。「巡回展」は「東アジアの生活文化（衣・食・住）」を統一テーマとして、各館が所蔵する実物資料を中心に企画展を立ち上げ、他の2館に巡回するもので、平成28年度に北九州が「衣」を、30年度に旅順が「食」を、32年度に仁川が「住」を担当することになった。

（日比野利信）



実務者会議（旅順博物館）  
巡回展開催方法などについて協議



館長会議（旅順博物館）  
2期目となる「合意書」を締結

## (2) ジオパーク活動推進事業

平成 26 年度に引き続き、日本ジオパーク認定に向けた取り組みを継続した。市民のジオパーク概念および北九州ジオパーク構想に対する認知が未だ不十分であることを受け、市民へのジオパーク概念の周知を主目的とした事業を実施した。また、日本ジオパーク認定に必要な不可欠な地域間ネットワーク構築のため、日本ジオパークネットワーク主催の事業に参加した。

### 主要事業と経過

- 1) 北九州ジオパーク推進連絡会（文書による活動報告）：平成 28 年 3 月 23 日
- 2) ジオパーク普及講座の実施：
  - 室内講座（2 回実施）
  - 野外観察会（ジオツアー、ジオハイキング：8 回実施、雨天中止 1 回）
  - 参加者合計 218 名
- 3) ジオサイトガイド（平尾台、若松北海岸のジオサイト案内パンフレット）の作成



- 4) ジオパークホームページの運営（<http://www.kitakyushu-geo.jp>）
  - ・アクセス解析の実施、スマートホン対応および博物館ホームページトップへのリンク設定
- 5) 日本ジオパークネットワーク事業等参加
  - ・地球惑星科学連合大会ジオパークセッション、JGN 通常総会等参加（平成 27 年 5 月 23～25 日）
  - ・日本ジオパーク第 6 回全国大会（霧島大会）参加（平成 27 年 10 月 27、28 日）
  - ・九州ジオパーク連絡会参加（第 1 回：平成 27 年 7 月 9 日、第 2 回：平成 28 年 1 月 28 日）
- 6) 関連活動
  - ・香港世界ジオパーク研修生受け入れ（平成 27 年 7 月 1 日）

（太田泰弘、馬場 稔）

### (3) NPO 協働提案モデル事業

本事業は北九州市市民文化スポーツ局市民活動推進課による補助事業で、市が設定したテーマに対して、NPO 法人又は市民活動団体の新しい発想や専門性を活かした提案を募集し、提案団体と市が協働してその事業に取り組むことにより、地域課題の解決やまちの活力向上を効果的・効率的に図ることを目的としている。

北九州市では基本構想・基本計画の柱のうち「暮らしを彩る」の主要施策の一つとして、「地域における伝統文化の発掘・継承」に取り組んでいる。また博物館ではこれまで企画展や普及講座などを通して伝統文化を知る機会を提供してきた。本事業では子どもや学生などの次世代が地域の伝統文化の継承と発展を図り、都市ブランドの構築に寄与するとともに、郷土を愛する人材を育成するため、「北九州市の伝統文化の歴史や魅力を市民に広め、特に次世代に伝えていくための取り組み」というテーマを設定した。それに対して小倉織協議会より「北九州市の伝統布・小倉織を守り伝えよう」とする事業の提案があり、博物館との協働事業として採択された。

小倉織は江戸初期から豊前小倉地域の名産として作られた綿織物で、厚手で丈夫な布として全国へ普及したが、昭和初期には生産が途絶えていた。近年では小倉織協議会の参加メンバーを中心に、製作技術の研究や創作活動が行われている。本事業では小倉織に関する教育普及プログラムの開発と学習ノートおよび学習キットの製作を中心に実施した。

その際、児童向けプログラム開発のためのワークショップを兼ね、福岡教育大学付属小倉小学校の協力を得て、同校の3年生を対象に、1年間を通して、10時間の授業を実施した。

【1学期】綿の栽培、綿繰り、弓打ち、じんき作りを経て糸紡ぎを実施。続いて高機での機織り体験など学習ノートを用いての授業を行った。

【2学期】染と色および縞について考察する授業を実施し、続いて簡易織機を使用して各児童がデザインした紐を織る体験を行った。

【3学期】小倉織ノートを用いて歴史を学んだ。

また博物館の普及講座「小倉織入門教室」を大人向けプログラムの開発のためのワークショップと位置付けて実施した（平成27年10月31日）。高機2台、糸車3台、綿繰り機2台を使用した。

学習ノートは試作品をもとに上記ワークショップで試用した後、手直しをして5,000部作成した。学習キットは綿繰り・弓打ち・糸車・簡易織機2セットのほか、染料染め糸の見本と織袴1セットを作成した。

本協働事業での小倉織に関する取り組みは今回で一区切りとなる。今後も引き続き小倉織協議会と連携しながら、本事業の成果を活用して、さらなる普及と研究に取り組んでいきたい。

(日比野利信)



#### (4) ユニバーサルミュージアム化事業

##### 事業目的

本事業は北九州市立自然史・歴史博物館が「より多くの人にとって、利用しやすく、ためになる」地域の総合博物館に進化するために、特にソフト面を中心として、「ユニバーサルミュージアム」を目指した新たなプログラムとサービスの構築を目的とする。具体的には、多言語化にも対応した、多くの方々にわかりやすい施設案内や展示・解説を提供し、参加・体験型の展示の拡充を目指すとともに、それを担う人材育成を図ることを主眼とする。

事業は(1)展示解説プログラムの開発、(2)担い手としての人材育成という2本柱で行う。具体的には、(1)は①館内における展示解説プログラムと②遠隔授業プログラムの開発、(2)は①関係団体・専門家を招聘しての館員研修、②先進館の職員・関係者を招聘しての研究会、③先進事例の調査の実施である。

北九州市立自然史・歴史博物館は中核館として、地域と連携した実践の場として、上記のようにさまざまな来館者に対応した展示・解説を展開し、ユニバーサルミュージアムとしてのプログラムやサービスを構築して、地域のグローバル化拠点としての役割を果たすことを目指す。それは地域の総合博物館として博物館に新たな機能を持たせ、地域の自然や歴史・文化の学びを通じ、地域を担う次世代の人材育成や地域の魅力向上に寄与するものである。

##### 事業組織

事業名：	ユニバーサルミュージアム化事業		
事業期間：	平成27年10月6日(火)～平成28年3月31日(火)		
事業実施者：	ユニバーサルミュージアム化事業実行委員会		
委員長	上田恭一郎	北九州市立自然史・歴史博物館館長	
副委員長	北原 守	北九州市障害福祉団体連絡協議会会長	
副委員長	高原義弘	公益財団法人北九州国際交流協会専務理事	
監 事	上山敬義	北九州市立高等学校校長	
監 事	沼田文子	元北九州市立自然史・歴史博物館ミュージアムティーチャー	
委 員	山家桂一	北九州市立自然史・歴史博物館副館長	
事務局	事務局長	山家桂一	北九州市立自然史・歴史博物館副館長
	庶務課長	永元博文	同普及課長
	事業課長	松井和幸	同歴史課長、真鍋 徹 同自然史課長
	庶務係長	竹中雅則	同教育普及担当係長
	事業係長	日比野利信	同歴史担当係長、下村通誉 同自然史担当係長
	庶務係員	神谷孝次	同普及課主任
	事業係員	山根明弘・大橋智之	同自然史課学芸員
	事業係員	宮元香織・中西義昌	同歴史課学芸員
	事業補助	川端深香	同歴史課臨時職員
補助金名称：	平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金 「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」		
総事業費：	4,148,400円(うち国庫補助額3,699,000円)		
実施協力：	北九州市障害福祉団体連絡協議会、公益財団法人北九州国際交流協会		



## 事業実施経過

- 10月6日(火) ユニバーサルミュージアム化事業実行委員会 第1回
- 11月28・29日(土・日) シンポジウム「ユニバーサルミュージアム論の新展開」参加  
(国立民族学博物館)
- 12月8日(金) 市民文化スポーツ局学芸員研修会  
(北九州市障害福祉団体連絡協議会副会長 林芳江氏)
- 1月8日(金) 研究会「回想法とユニバーサルミュージアム」  
(北名古屋市歴史民俗資料館館長 市橋芳則氏)
- 1月19日(火) 障害者対応研修 第1回
- 1月20日(水) 九州産業大学学芸員技術研修会「ユニバーサルミュージアム」参加  
(佐賀県立美術館・博物館)
- 1月22日(金) 研究会「知的障がい児者の現状と理解」(福岡県立大学寺島正博氏)
- 1月26日(火) 障害者対応研修 第2回
- 1月28日(木) 知的障害者(親)に関する聞き取り調査(北九州市手をつなぐ会親の会)
- 2月3日(水) 遠隔授業実施 第1回 北九州市立すがお小学校
- 2月4日(木) 遠隔授業実施 第2回 北九州市立港が丘小学校
- 2月4日(木) 障害者対応研修 第3回
- 2月6日(土) 北九州市タウンミーティング「共生のまちづくり」傍聴
- 2月12日(金) 障害者対応研修 第4回
- 2月14日(日) 知的障害者(当事者)に関する聞き取り調査(北九州市手をつなぐ会)
- 2月15日(月) 展示解説ワークショップ(北九州国際交流協会)
- 2月16日(火) 外国人対応研修 第1回
- 2月18日(木) 遠隔授業実施 第3回 北九州市立香月小学校
- 2月18日(木) 障害者対応研修 第5回
- 2月19日(金) 高齢者入所施設による聞き取り調査(聖ヨゼフの園養護老人ホーム)
- 2月23日(火) 特別展「大正・昭和の暮らしと風景」ガイドツアー  
(養護老人ホーム正寿園)
- 2月24日(水) 特別展「大正・昭和の暮らしと風景」ガイドツアー  
(八幡デイサービスセンター)
- 2月25日(木) 特別展「大正・昭和の暮らしと風景」ガイドツアー  
(ケアハウス八幡、養護老人ホーム西峰園、養護老人ホーム正寿園)
- 2月25日(木) 障害者対応研修 第6回
- 2月26日(金) 特別展「大正・昭和の暮らしと風景」ガイドツアー  
(養護老人ホーム正寿園)
- 2月26日(金) 外国人対応研修 第2回
- 3月5日(土) 氷見市立博物館特別展「思い出をつむぐ 暮らしを知る」資料解説会参加
- 3月8日(火) ユニバーサルミュージアム化事業実行委員会 第2回
- 3月9・10日(水・木) 北名古屋市歴史民俗資料館・恵那市 回想法実地調査
- 3月29日(火) ユニバーサルミュージアム化事業実行委員会 第3回

## 実施結果

平成 26 年度からの継続事業だが、平成 27 年度は特に前年度手つかずであった知的障害者および高齢者対応を追加して展示解説プログラムの開発等に取り組んだこと、また博物館職員や展示交流員、ボランティア等博物館の全スタッフを対象とした研修や研究会を実施して人材育成を図ったこと、以上 2 点が特筆できる。具体的には以下の通りである。

- 1) 博物館の展示・解説に関わる課題抽出において、知的障害者や高齢者の指摘が得られ、さらなる解決策を検討・検証することができた。
- 2) 展示解説プログラムの開発において、多言語化では「わかりやすい日本語と英語」の観点を追加、遠隔授業では館内で実施していた「昔の道具調べ学習」を学校で実施、さらに高齢者を主対象としたプログラムを探求するなど、拡充して検討・検証することができた。
- 3) 障害者対応（全 6 回）および外国人対応（全 2 回）に関する研修を実施して、ユニバーサルミュージアム化に向けて、博物館全スタッフが基本的知識や自覚を育むことができた。
- 4) ユニバーサルミュージアムの総論、知的障害者や高齢者対応、ハンズオン展示といった各論の両方について研究会を実施または参加して、さらに知見を深めることができた。
- 5) 以上を通じて関係者・団体と博物館の交流のネットワークを築くことができた。今後さらにユニバーサルミュージアム化を進めていく体制作りにつながると期待できる。

本事業によって、地域の博物館が地域社会において多様な文化や属性を持つ人びとの交流・共生の場として、つまりは地域のグローバル化拠点としての役割を果たしていくための一つのモデルとなる有効性と可能性を示すことができたと考える。

今後は①研修や研究会を継続的に実施する、②構築したネットワークの維持・拡充を図る、③当博物館だけではなく当市内外の他の博物館がユニバーサルミュージアム化していくための実践例として事業内容を紹介することに努めていきたい。

(日比野利信)



わかりやすい日本語・英語解説ワークショップ



手をつなぐ育成会親の会課題抽出聞き取り調査



遠隔授業の実施実験



障害者対応研修 車椅子利用者介助 (左) 視覚障害者介助 (右)



外国人対応研修 異文化理解 (左)



わかりやすい日本語 (右)



地域回想法に関する研究会



知的障害児に関する研究会



氷見市立博物館における地域回想法意見交換



博多湾岸《金印ロード》プロジェクト研究会  
歴史資源×デジタル技術×ユニバーサルデザイン



## (6) 北九州ミュージアムウィーク

期 間：平成 27 年 5 月 9 日（土）～平成 27 年 5 月 24 日（日）  
16 日間

### 概 要

国際博物館会議(ICOM: International Council of Museums)は、5月18日を「国際博物館の日」とし、博物館が社会に果たす役割について広く市民にアピールしている。この活動に賛同する世界中の博物館では、5月18日を中心に、地域連携事業や講演会など、様々な記念行事が行われている。

北九州市では、「国際博物館の日」にちなみ、平成 26 年度から、市内のミュージアムを巡るスタンプラリーを中心としたイベント「北九州ミュージアムウィーク」を開催しており、博物館も取り組みに積極的に参画している。

2 回目となった 27 年度の「北九州ミュージアムウィーク 2015」では、市内 9 施設が参加した。博物館では、期間中に、関連イベント「大人も！子どもも！博物館で江戸遊び」を実施し、博物館の魅力を再認識していただく機会とした。

また、北九州市では、ミュージアムウィークの拡大版として、平成 28 年 1 月 6 日（水）～1 月 31 日（日）に、「北九州ウィンターミュージアム 2016」を開催。市内の 12 施設に加え、福岡市の 3 館(福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館)とも連携して、相互の文化施設・観光施設の PR を実施した。

博物館では、関連イベントとして、館内の 5 つの展示品に因んだ謎を解くクイズラリー「いのたび遺産を探せ！」を企画し、約 9,200 名の来場者に取り組んでいただいた。



### 関連イベント「大人も！子どもも！博物館で江戸遊び」

甲冑や着物を着て記念撮影ができる「江戸衣装着用体験」や、江戸時代に流行した、絵から推理して答えを導き出す「判じ絵」を使ったクイズラリー、忍者ムササビをモデルにした簡単なグライダーを作って、滑空する動物について学ぶワークショップなど、「江戸」をテーマに博物館ならではの体験型イベントを実施した。

ガイド館では、<sup>さんしょやこつぶ</sup> 嘶の会じゅげむ小倉出張所の山椒家小粒さんをお迎えし、古典落語を通して江戸文化に触れる催し「落語で笑って！楽しむ！江戸の小倉」を開催した。当館学芸員 2 名も落語に初挑戦し、独特の話術で多くのお客様に楽しんでいただいた。

(井村寛子)



## (7) 日本甲虫学会第6回大会・日本昆虫分類学会第18回大会合同大会（共催）

日 時：平成26年11月21日（土）～11月22日（月）

場 所：北九州市立いのちのたび博物館

主 催：日本甲虫学会、日本昆虫分類学会

共 催：北九州市立いのちのたび博物館

協 賛：公益財団法人西日本産業貿易コンベンション協会

### 概 要

日本甲虫学会第6回大会と日本昆虫分類学会第18回大会の合同大会を、当館との共催により2014年11月21日（土）から22日（日）の日程で開催した。開催にあたっては、公益財団法人西日本産業貿易コンベンション協会の協賛をいただいた。

合同大会には全国から116名の参加があった。1日目は評議員会や総会、学会賞授与式、論文賞受賞講演などが行われ、その後九州大学の荒谷邦雄教授をコーディネータとしてシンポジウム「生物多様性条約と昆虫研究：名古屋議定書・ABS問題」を一般公開で開催した。生物多様性条約の詳細な解説に始まり、生物多様性条約に則った各国の取り組みの中で、昆虫研究者が今後どのように関わっていくのかを、大学・博物館双方の立場から、現場での実務をベースにした講演が行われた。

2日目は一般講演11題、ポスター発表4件、そして6つの分科会が行われ、活発な研究発表や議論が行われた。同時に昆虫標本を持ち寄り、専門家が名前を調べる「同定会」が行われ、同定会会場は人と標本であふれかえった。

（蓑島悠介）



博物館入口



公開シンポジウム



標本同定会会場

## 1 2. 教育普及活動

### (1) 博物館セカンドスクール事業

博物館が第2の学校(教室)として、子どもたちの来館機会を創出し、新しい発見や感動を胸に理科・社会科への学習意欲を持たせる仕組みづくりを行うため、

- (1) 博物館への誘致事業
- (2) 学校教育支援事業
- (3) 家庭教育支援事業

の3つの柱をかかげ、学校教育現場と博物館との結びつきを強めるための事業。

#### 1) 博物館への誘致事業

- 博物館への誘致活動  
修学旅行等の団体客を誘致するため学校へのガイダンスビデオ、パンフレット類の送付及び旅行会社へのPR活動
- 情報発信による博物館利用の案内  
・情報誌「いのちのたび」を月1回、保育所(園)・幼稚園向けの情報誌を年2回発行  
・博物館ホームページ、市政だより等の活用

#### 2) 学校教育支援事業

- 博物館活用資料の整備  
各種ガイドブック、ワークシート、スタンプラリーシート、体験活動プログラム資料など
- 体験学習プログラムの提供  
化石レプリカづくり、ペットボトル顕微鏡づくり、化石発掘体験、勾玉づくり
- 授業づくり支援  
「博物館利用の手引き」の作成、小学校への出前授業、「昔の道具調べ」「土地のつくりと変化」等の館内授業、ディスカバリーボックスの貸し出し等
- 職場体験学習、教員研修の受け入れ等
- 環境体験科(北九州市教育委員会主催の市内小学校4年生を対象とした体験活動)
- その他  
北九州市小学校児童科学研究作品展会場等

#### 3) 家庭教育支援事業

- いのちのたび子ども教室(20名を定員として前期8回、後期8回で学芸員による講話や体験学習を実施する。)
- 東田サマースクール(夏休み期間中に、環境ミュージアム、KIGSと合同で全3期の体験学習を実施する。)

#### 【平成27年度 学校関係利用状況】

##### ○ 学校関係誘致実績

団体	保・幼	小学校	中学校	高等学校	特別支援	合計
団体数	231	877	128	19	61	1,316
人数	13,515	62,435	9,675	1,043	1,404	88,072

##### ○ 学校教育支援事業実績

体験プログラム	レプリカ	顕微鏡	化石発掘	勾玉	合計
団体数	10	3	31	10	54
人数	585	55	1,439	410	2,489

授業	昔の道具調べ	土地のつくり	環境体験科	合計
学校数	22	14	44	80
人数	1,182	976	2,711	4,869

##### ○ 家庭教育支援事業実績

講座名	いのちのたび子ども教室	東田サマースクール
回数	前期8回 後期8回	3期
参加者数	各回20名のべ320名	各期25名 計75名

## (2) 普及講座

### 1) 自然史系の普及講座

自然史に親しみ、理解を深めてもらうため各学芸員の専門分野の講座を35回企画した。悪天候による中止が3回あったため、32回の実施となった(野外観察会:9回(うち2回中止)、室内講座:10回、たいけん講座:7回、夏休み教室:3回、バスハイク:5回(うち1回中止)、講演会:1回)。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
野外観察会	都市林のモニタリング型植物観察会～春の部	平成27年4月26日	日	20
野外観察会	バードウィーク市民探鳥会	平成27年5月10日	日	47
野外観察会	ジオ・ハイキング「平尾台の謎をさぐるジオハイキング(化石+洞窟編)」	平成27年6月14日	日	23
野外観察会	都市林のモニタリング型植物観察会～夏の部	平成27年7月26日	日	21
野外観察会	ジオ・ハイキング「化石と地質のたのしみ方」	平成27年8月9日	日	35
野外観察会	ジオ・ハイキング「恐竜時代の大地を知る皿倉山探索」	平成27年9月23日	水・祝	9
野外観察会	都市林のモニタリング型植物観察会～秋の部	平成27年10月25日	日	14
野外観察会	ズグロカモメを見る!	平成28年1月24日	日	中止
野外観察会	カワセミを見る!	平成28年2月14日	日	中止
室内講座	恐竜教室「世界の恐竜たち・その1」	平成27年4月18日	土	15
室内講座	地球と化石の研究最前線「探査船ちきゅうで巨大地震の巣に挑む!」	平成27年5月10日	日	13
室内講座	恐竜教室「世界の恐竜たち・その2」	平成27年5月16日	土	25
室内講座	恐竜教室「世界の恐竜たち・その3」	平成27年6月6日	土	26
室内講座	顕微鏡で見よう!美しい鉱物	平成27年6月7日	日	21
室内講座	昆虫標本作製教室	平成27年6月14日	日	41
室内講座	秋の恐竜学「恐竜をもっと楽しく見るホネの話」	平成27年10月18日	日	30
室内講座	恐竜すす払い	平成27年12月25日	金	12
室内講座	小さな化石にふれてみよう!	平成28年2月11日	木・祝	14
室内講座	冬の恐竜学「恐竜をもっと楽しく見るホネの話」	平成28年2月21日	日	22
たいけん教室	ジオ体験「ジオの恵み:合馬のたけのこ掘り」	平成27年4月12日	日	47
たいけん教室	親子de!野菜からDNAをとりだしてみよう!	平成27年6月21日	日	23
たいけん教室	親子de!野菜からDNAをとりだしてみよう!	平成27年10月11日	日	25
たいけん教室	「けもの」の毛と骨の観察	平成27年11月15日	日	4
たいけん教室	ムササビとタネのグライダー	平成27年12月6日	日	16
たいけん教室	鳥はなぜ飛べる?鳥だこを作って考えよう!	平成27年12月13日	日	12
たいけん教室	いろいろなかたちのアンモナイトにさわってみよう!	平成28年2月14日	日	16
夏休み教室	権現山の昆虫・植物観察会	平成27年7月25日	土	18
夏休み教室	海岸生物の観察	平成27年7月31日	金	64
夏休み教室	植物の名前調べ	平成27年8月22日	土	9
バスハイク	ジオツアー「生きた化石:カプトガニと平尾台の謎をとく旅」	平成27年7月18日	土	20
バスハイク	ジオツアー「チャレンジ洞窟探検、平尾台バスツアー」	平成27年8月30日	日	中止
バスハイク	ジオツアー「ジオの恵みと日本の近代化」	平成27年10月11日	日	11
バスハイク	ジオツアー「学芸員とめぐる北九州周辺の化石産地と代表的地層!」	平成27年11月22日	日	27
バスハイク	ジオツアー「春の宿題これで決まり!化石とジオトープと未来環境」	平成28年3月20日	日	19
講演会	史上最大級イカ・タコ化石発見～最近の当館化石研究成果～	平成27年4月26日	日	28

合計 727

### 2) 歴史系の普及講座

歴史や文化にかかわる講座を実施し、理解につとめた。連続講座ではより深い学習を求める方々に向けた講座を行った。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
室内講座	近世文書読み方入門講座	平成27年4月～平成28年2月	第2水	13
室内講座	近世文書読み方応用講座	平成27年4月～平成28年2月	第4水	36
歴史探訪講座	北九州の城跡を歩く～長野城跡～	平成27年4月25日	土	24
たいけん講座	若武者に変身!	平成27年5月5日	火・祝	42
室内講座	ミニ屏風を作ろう	平成27年8月18日	火	7
室内講座	小倉織入門教室	平成27年10月31日	土	19
歴史探訪講座	北九州の城跡を歩く～小倉城跡～	平成27年11月7日	土	9

合計 150



### 3) 自然史・歴史合同の普及講座

「いのたび自然塾」と称して、自然史課・歴史課共同で自然学習園などにおいて自然の恵みと人々の歴史を考えるイベントを行った。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
いのたび自然塾	どんぐり祭り！たべよう・あそぼう	平成 27 年 11 月 8 日	日	54
いのたび自然塾	オリジナルしめ縄を作ろう！	平成 27 年 12 月 20 日	日	27

合計 81

### 4) 特別展の普及講座等

特別展に関連した講座等として下記を開催した。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
関連イベント	ガイドツアー 鉱物のひ・み・つ	会期中の毎週土曜日 (8 回)	土	153
関連イベント	ガイドツアー ヒスイのひ・み・つ	会期中の毎週日曜日 (8 回)	日	133
関連イベント	ナイトミュージアム～闇夜に輝く秘法を探せ～	平成 27 年 4 月 3 日, 5 月 1 日	金	392
関連イベント	小さな鉱物を大きく見よう！	平成 27 年 4 月 11 日	土	16
関連イベント	ガラス玉をつくって！まなぶ！	平成 27 年 4 月 18 日, 4 月 29 日, 5 月 2 日	土, 水	80
関連イベント	勾玉をつくって！まなぶ！	平成 27 年 4 月 25 日, 4 月 26 日	土, 日	93
関連イベント	ナイトミュージアム	平成 27 年 7 月 24 日, 8 月 28 日	金	874
関連イベント	ギャラリートーク	平成 27 年 7 月 25 日, 8 月 1 日, 9 月 6 日, 9 月 13 日, 9 月 20 日	土, 日	90
関連イベント	恐竜コンサート	平成 27 年 9 月 12 日	土	98
関連イベント	講演会①「医は仁術」について ②日本の医学と九州	平成 27 年 10 月 10 日	土	108
関連イベント	特別展「医は仁術」ギャラリートーク	会期中の毎週日曜日 (14 回)	日	240
関連イベント	シンポジウム「患者塾」医は仁術って本当ですか？	平成 27 年 10 月 17 日	土	121
関連イベント	ハロウィン☆ナイトミュージアム	平成 27 年 10 月 30 日	金	177
関連イベント	川原尚行氏講演会	平成 27 年 11 月 13 日	金	120
関連イベント	監修者・杉本真樹氏による特別講演会&ギャラリートーク	平成 27 年 11 月 28 日	土	30
関連イベント	ナイトミュージアム	平成 28 年 3 月 25 日	金	339
関連イベント	アンモナイトレプリカづくり	平成 28 年 3 月 27 日	日	約 20
関連イベント	勾玉のふしぎ	平成 28 年 3 月 20 日	日	約 20
関連イベント	特別授業 (1) からだのふしぎ	平成 28 年 3 月 19 日	土	約 20
関連イベント	特別授業 (2) むかしのふしぎ	平成 28 年 3 月 26 日	土	約 20

合計 3,144  
(チケット購入が条件)

### 5) 入館者 500 万人達成および北九州市からの世界文化遺産誕生に合わせて行った普及講座

「入館者 500 万人達成！！&北九州市から世界文化遺産誕生！W記念イベント」と称して以下の講座を行った。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
W記念イベント	ジェルキャンドルをつくろう	平成 27 年 7 月 19 日, 7 月 20 日	日, 月・祝	201
W記念イベント	親子 de ! 500 万個の細胞から DNA	平成 27 年 7 月 28 日, 8 月 29 日, 9 月 19 日	火, 土	39
W記念イベント	固まるねんど「おゆるくん」でオリジナルグッズをつくろう	平成 27 年 8 月 4 日	火	422
W記念イベント	恐竜ミニシアター	平成 27 年 8 月 7 日, 9 月 6 日	金, 日	1900
W記念イベント	プラバンでオリジナルキーホルダーをつくろう	平成 27 年 8 月 25 日	火	中止

合計 2,562

### 6) ミュージアムウィーク関連講座

「国際博物館の日」記念イベントとして本市が実施した「北九州ミュージアムウィーク」(平成 27 年 5 月 9 日～24 日) 関連講座として下記を開催した。

種別	講座名	開催日	曜日	人数
MW 関連イベント	大人も！子どもも！博物館で江戸遊び！「忍者ライダーをつくろう」	平成 27 年 5 月 9 日	土	3
MW 関連イベント	大人も！子どもも！博物館で江戸遊び！「江戸衣装着用体験」	平成 27 年 5 月 9 日	土	42
MW 関連イベント	大人も！子どもも！博物館で江戸遊び！「落語で笑って！楽しむ！江戸時代」	平成 27 年 5 月 9 日	土	104

合計 149  
(チケット購入が条件)

### (3) 博物館実習

#### 1) 自然史課博物館実習

学芸員課程の学生を受け入れ、各学芸員が数講座ずつ担当した。5日間と10日間を学生が選択。

\*1期：8月11日(火)～8月22日(土)、日曜・月曜休講の10日間

・人数：10名(うち3名は5日間)

・所属大学：北九州市立大学1名、日本大学1名、熊本大学1名、九州保健福祉大学1名、筑紫女学園大学1名、琉球大学1名、九州産業大学1名、福岡大学3名

\*2期：9月1日(火)～9月12日(土)、日曜・月曜休講の10日間

・人数：11名(うち4名は5日間)

・所属大学：北九州市立大学1名、鹿児島大学1名、熊本大学1名、宮崎大学1名、琉球大学1名、九州産業大学1名、福岡大学5名

#### 2) 歴史課博物館実習

学芸員課程の学生を受け入れ、各学芸員が数講座ずつ担当した。5日間と10日間を学生が選択。

・期間：8月4日(火)～8月8日(土)、9月1日(火)～9月5日(土)

・人数：7名(うち1名は10日間)

・所属大学：北九州市立大学3名、福岡女子短期大学1名、東洋大学1名、広島大学1名、東海大学1名

### (4) 職場体験・職員研修受け入れ

教育機関等からの依頼を受け、生徒・学生・教職員などが研修生として働くことで、将来に向けての就業体験や社会人として広く見識を深めることが出来るように研修の企画・運営を行った。

#### 1) 職場体験受け入れ

- ・鎮西敬愛学園敬愛中学校(平成27年7月29、30日 3名)
- ・西南女学院中学校(平成27年7月29、30日 2名)
- ・福岡県立折尾高等学校(平成27年8月5、6日 3名)
- ・岡垣町立岡垣中学校(平成27年9月9、10日 3名)
- ・北九州市立中央中学校(平成27年10月14、15日 6名)
- ・九州国際大学付属中学校(平成27年10月21日 4名)
- ・福岡県立若松高等学校(平成27年10月29、30日 3名)

#### 2) 職員研修受け入れ

- ・福岡県立小倉高等学校(平成27年8月4日～6日 教諭2名)
- ・福岡県立八幡高等学校(平成27年8月4日～6日 教諭2名)
- ・福岡県立門司学園高等学校(平成27年8月4日～6日 教諭2名)
- ・福岡県立八幡中央高等学校(平成27年8月4日～6日 教諭1名)
- ・福岡県立小倉東高等学校(平成27年8月4日～6日 教諭1名)
- ・福岡県立小倉聴覚特別支援学校(平成27年8月4日～6日 教諭1名)
- ・福岡県立嘉穂高等学校(平成27年8月4、5、7日 教諭1名)

### (5) 館内での講話等

依頼を受けて、生徒・学生・一般の方々へ、各学芸員の専門分野の講話や解説を行った。

・対応件数計：21回、約1,100名に対応

・主な依頼元：高等学校・大学等教育機関(市内、県内外)、市他部局、JICA、出版社

### (6) 館外での講演等

依頼を受けた講演会等で児童・生徒・一般の方々へ、各学芸員の専門分野の講話や解説を行った。

・対応件数計：30回、約800名に対応

・主な講演先：小・中・高・大学等教育機関(市内、県内外)、博物館、各自治体、公共施設、メディア等

## (7) 公務による大学での講義

- ・北九州市立大学
  - 「自然史へのいざない」自然史課学芸員全員 11名 11コマ
  - 「博物館資料保存論」自然史課(馬場 稔、下村通誉、太田泰弘、山根明弘、森 康、御前明洋)、歴史課(松井和幸、日比野利信、宮元香織) 12コマ
  - 「博物館展示論」自然史課(真鍋 徹、藪本美孝、馬場 稔、武石全慈、大橋智之、蓑島悠介)、歴史課(松井和幸、日比野利信、宮元香織) 12コマ
  - 「環境都市としての北九州」山根明弘 1コマ
  - 「地球環境システム論」真鍋 徹・武石全慈 3コマ
- ・福岡大学
  - 「博物館資料保存論」山根明弘 4コマ
  - 「博物館経営論」馬場 稔 15コマ
  - 「博物館実習 II」馬場 稔 3コマ
- ・九州大学大学院
  - 「先端学際科学」森 康 1コマ
- ・岐阜大学
  - 「博物館展示論」真鍋 徹 15コマ(集中講義)
- ・お茶の水女子大学
  - 「公開臨海実習」下村通誉 4日間の実習指導

## (8) 団体・委員会への就任依頼

- ・真鍋 徹(自然史課)
  - ・遠賀川流域生態系ネットワーク検討委員会委員(九州地方整備局)
  - ・小石原川ダム環境保全対策検討委員会委員(水資源機構)
  - ・小石原川ダム環境保全対策検討委員会クマタカ検討部会委員(水資源機構)
  - ・福岡県環境影響評価専門委員(福岡県)
  - ・恒見朽網線(吉田・恒見工区)環境保全措置・事後調査検討委員(北九州市)
  - ・ナショナル・バイオリソース・プロジェクトにおける「情報発信体制の整備とプロジェクトの総合的推進」事業協力者(国立科学博物館)
  - ・日本景観生態学会編集委員(日本景観生態学会)
  - ・日本景観生態学会企画委員(日本景観生態学会)
  - ・日本生態学会九州地区委員(日本生態学会)
- ・下村通誉(自然史課)
  - ・新西部水処理センター環境モニタリング委員会委員(福岡市)
  - ・博多湾環境保全計画推進委員会委員(福岡市)
  - ・「標本救済ネット」ケースワーカー(西日本自然史系博物館ネットワーク)
  - ・日本甲殻類学会学会誌 Cancer 編集委員長(日本甲殻類学会)
  - ・日本甲殻類学会学会賞選考委員長(日本甲殻類学会)
  - ・日本動物分類学会評議委員(日本動物分類学会)
  - ・日本動物分類学会学会誌 Species Diversity 編集委員(日本動物分類学会)
- ・藪本美孝(自然史課)
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討委員会タナゴ部会員(北九州市)
  - ・恒見朽網線(吉田・恒見工区)環境保全措置・事後調査検討委員(北九州市)
  - ・石川県白山市手取層群化石調査団員
  - ・福島県・シーラカンス委員会国内委員(ふくしま海洋科学館)
- ・馬場 稔(自然史課)
  - ・福岡県環境審議会委員(福岡県)
  - ・大分県特別天然記念物カモシカ食害対策事業調査指導委員(大分県教育委員会)
  - ・大分県天然記念物(動・植物)緊急調査指導委員(大分県)
  - ・周南市ツル保護協議会委員(周南市教育委員会)

- ・福岡県サル被害対策検討委員会委員（福岡県）
- ・日本生態学会九州地区会地区委員（日本生態学会）
- ・武石全慈（自然史課）
  - ・遠賀川流域生態系ネットワーク検討委員会委員（九州地方整備局）
  - ・福岡県環境影響評価専門委員（福岡県）
  - ・周南市ツル保護協議会専門委員会専門委員（周南市教育委員会）
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討会会員（北九州市）
  - ・日本鳥学会鳥類保護委員会委員（日本鳥学会）
- ・太田泰弘（自然史課）
  - ・Mine 秋吉台ジオパーク構想拠点施設検討委員会委員（美祢市教育委員会）
  - ・日本洞窟学会事務局・洞窟学雑誌編集委員・評議員（日本洞窟学会）
  - ・福岡県環境教育学会運営委員（福岡県環境教育学会）
- ・山根明弘（自然史課）
  - ・北九州学術・研究都市貴重種対策検討会作業部会員（北九州市）
  - ・宇佐市オオサンショウウオ保護管理委員会委員（宇佐市教育委員会）
  - ・宗像市自然環境調査研究会爬虫類・両生類分野協力者（宗像市）
  - ・岩国市シロヘビ調査研究委員会委員（岩国市教育委員会）
- ・森 康（自然史課）
  - ・日本鉱物科学会博物館委員会委員（日本鉱物学会）
- ・大橋智之（自然史課）
  - ・日本古生物学会化石友の会幹事（日本古生物学会）
  - ・日本古生物学会将来計画委員会委員（日本古生物学会）
- ・葦島悠介（自然史課）
  - ・日本甲虫学会評議員（日本甲虫学会）
  - ・日本甲虫学会和文誌編集委員（日本甲虫学会）
  - ・福岡県地域社会教育 ICT 活用連携協議会委員（海の中道海洋生態科学館）
  - ・「標本救済ネット」ケースワーカー（西日本自然史系博物館ネットワーク）
- ・日比野利信（歴史課）
  - ・春日市文化財専門委員（春日市教育委員会）
- ・宮元香織（歴史課）
  - ・佐賀県文化財保護審議会委員（佐賀県教育委員会）
- ・上野晶子（歴史課）
  - ・戸畑祇園大山笠振興会保存委員会委員（戸畑祇園大山笠振興会）

## 13. 博物館ボランティア（シーダー）の活動

### (1) 人数 (平成27年4月1日現在)

- 登録人数 51名 [男性 19名 女性 32名]
  - 30代 (3名) 40代 (3名) 50代 (4名)
  - 60代 (19名) 70代 (19名) 80代 (3名)

### (2) 活動実績

- 延べ日数 354日
- 延べ活動回数 3,239回 (平均63.5回/人)

### (3) 活動内容

#### [展示案内グループ]

来館者に対して館内の施設案内、常設展・特別展の展示解説、スポット解説を行う。

#### [講座補助グループ]

体験プログラムの補助、学芸員の普及講座の補助、子ども教室・東田サマースクールおよびMTが行う授業（環境体験科、昔の道具調べ）の補助を行う。

#### [演示グループ]

子ども向けの恐竜や生き物の「折り紙」、九州の民話を抜粋した「手作り紙芝居」の読み聞かせ、お手玉・コマ回しなどの「昔あそび」、糸紡ぎから機織りまでを体験する「小倉織」などの実演を行う。

### (4) 研修

- 毎月1回の学芸員との「シーダーゼミ」を通して、シーダーとしての資質の向上に努めた。

実施日	人数	講 話 題	話 者
第119回	4月24日(金)	25名 フズリナについて アンモナイトとホルツマーデン産化石	太田 泰弘 御前 明洋
第120回	5月22日(金)	19名 シーラカンスとブラジル 重留遺跡出土広形銅矛	齋本 美孝 松井 和幸
第121回	6月12日(金)	24名 昆虫の展示について 日明一本松塚古墳石室レプリカ	蓑島 悠介 宮元 香織
臨時	7月22日(水)	18名 特別展「スペインの奇跡の恐竜展」	大橋 智之
第122回	7月24日(金)	21名 カエルとサンショウウオ①（ポケットミュージアムNo.6の解説） 飛鳥・奈良時代の寺院について	山根 明弘 中西 義昌
臨時	8月4日(水)	17名 企画展 祝 世界文化遺産登録記念展「世界遺産のまち 北九州と 明治日本の産業革命」	日比野利信
第123回	8月7日(金)	17名 スギと屋久杉 小倉城ジオラマ	真鍋 徹 守友 隆
第124回	9月25日(金)	20名 多様性館：エビ、カニ、無脊椎動物の展示解説 カルチャーモールの展示について	下村 道誉 上野 晶子
第125回	10月30日(土)	18名 剥製標本の中身+到津の森の動物たち 八幡製鉄所社宅について	馬場 稔 日比野利信
臨時	11月6日(金)	19名 特別展「医は仁術」	松井 和幸
第126回	11月13日(金)	17名 館内の石歩き アースモールの恐竜を語る・その1	森 康 大橋 智之
第127回	12月11日(金)	22名 ディプロミスチスとワイオミングの魚類化石 ストロマトライトと付加体の岩石	齋本 美孝 御前 明洋
臨時	1月22日(金)	19名 特別展「大正のくらしと風景」	日比野利信 堀切 辰一
第128回	1月29日(金)	23名 自然発見館のジオパーク展示について 井手浦の梵鐘	太田 泰弘 松井 和幸
第129回	2月24日(水)	18名 肉食恐竜を比べて解説 埴輪の意味と役割	大橋 智之 宮元 香織
第130回	3月11日(金)	21名 偏光顕微鏡による岩石観察 長野城	森 康 中西 義昌

## 1 4. 自然史友の会の活動

### 目 的

博物館とともに楽しく自然を研究し、正しく自然を理解し、自然史学の普及発展に寄与し、会員相互の親睦を図ることを目的とする（自然史友の会規約第2条）。

### 会員数

652名（平成28年3月31日現在）

### 役員等

会長：小林 繁、副会長：原田隆好・佐藤政弘、幹事長：新海義治、事業担当幹事7名、出版担当幹事9名、庶務会計担当幹事4名、評議員40名（会長以外の前記役員を含む）、会計監査2名、顧問13名

### 年会費

正会員：大人 3,000円、小・中・高生 1,000円、家族 4,000円

賛助会員：10,000円

### 活動内容

- (1) 会誌「わたしたちの自然史」の発行（B5版、総カラー24ページ）  
第131号（8月31日発行）：「遠賀川河川敷でのコロナイナツユクサの記録」等9件の報告  
第132号（10月5日発行）：「イヌコモチナデシコの正しい学名」等6件の報告  
第133号（12月28日発行）：「総会・研究発表会報告（講演要旨8件付き）」等10件の報告  
第134号（3月18日発行）：「ガシヤモク復活に向けて」等7件の報告  
第135号（3月25日発行）：「日本第1位クラスのカブトガニ産卵地曽根干潟」等8件の報告
- (2) 研究部会の活動：例会の実施  
地質鉱物（第150～156回例会）、化石（第342～348回例会）、植物（第145～150回例会）、昆虫（データ入力10回）、水生動物（休止中）、両生・爬虫類（第193～201回例会）、鳥類（第125回例会）
- (3) 研究部会合同野外観察会の実施  
9月27日（日）に北九州市小倉南区平尾台にて実施。参加者31名。
- (4) 博物館との共催の野外観察会の実施  
野外観察会・夏休み教室を8回実施。
- (5) 市民向け室内講座の実施  
「植物細密画を描いてみよう！」：第1回 7月12日（日）13:00～17:00、博物館実習室にて。  
参加者30名、第2回 10月25日（日）13:00～17:00、博物館実習室にて。参加者20名。  
「スルメイカの解剖はイカが？ -軟体動物の体を調べよう-」：8月9日（日）13:00～16:30、博物館実習室にて。参加者42名。
- (6) 会員向け室内講座の実施  
「植物のからだのなかを観察してみよう！ 葉脈標本も作ってみよう！」：7月5日（日）13:00～16:00、博物館実習室にて。参加者16名。
- (7) 研究発表会の実施  
4月29日（水・祝）に博物館にて「門司区の地質と門司鉱山」等8件の発表。参加者104名。
- (8) 会議等の実施  
総会（4月29日）、親睦会（4月29日）、評議員会（3月21日）、出版担当幹事会（3回）、事業担当幹事会（2回）、庶務会計担当幹事会（1回）、特別号検討委員会（2回）を実施。

## 15. 歴史友の会の活動

### 目的

本会は、考古学など歴史に関する学習を通じて自己啓発と会員相互の親睦を図り、正しい古代史への理解と認識を高めるとともに、博物館への協力によって北九州地域の文化の向上に寄与することを目的とする（歴史友の会会則第2条）。

### 会員数

160名（平成28年3月末現在）

### 役員等

会長：山中英彦、副会長：野口委有、豊村二雄、会計3名、会計監査2名、会員管理1名、講座運営担当12名、遺跡見学運営担当10名、広報・会誌編集6名

### 年会費

正会員：5,000円 賛助会員：10,000円以上 臨時会員：実費（資料代）800円

### 活動内容（平成26年度）

- (1) 会誌「友の会だより」の発行（A4版、総カラー6ページ、年3回）
- (2) 講演会 年9回開催、参加者総計906名

日時	講演タイトル	講師	人数
4月18日（土）	神宿る島・沖ノ島と関連遺産群	海の道むなかた館 館長 西谷 正 先生	96名
6月13日（土）	吉田松陰と松村塾	萩博物館研究員 道迫真吾 先生	99名
7月4日（土）	長崎の教会群とキリスト教関連遺産について	長崎県教育委員会 川口洋平 先生	83名
8月8日（土）	古事記と日本書紀について	福岡教育大学名誉教授 亀井輝一郎 先生	103名
9月12日（土）	能島城と村上水軍-最新の発掘調査成果から-	村上水軍博物館学芸員 田中 謙 先生	109名
10月10日（土）	「医は仁術」について	国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長 鈴木一義 先生	84名
	日本の医学と九州	順天堂大学特任教授 酒井シズ 先生	
12月12日（土）	日記にみる日本史～小倉藩大庄屋の日記～	北九州市立自然史・歴史博物館 名誉館員 永尾正剛 先生	130名
	日記にみる日本史～安川敬一郎日記～	北九州市立自然史・歴史博物館 歴史担当係長 日比野利信	
1月23日（土）	飛鳥と終末期古墳について	北九州市立自然史・歴史博物館 宮元香織	89名
	水中考古学の魅力に迫る-水中文化遺産保護の意義-	九州国立博物館 佐々木蘭貞 先生	
3月12日（土）	発掘調査からみた小倉城と城下町 -その成立・発展・変貌・衰退の諸相-	(財)北九州芸術文化振興財団 埋蔵文化財調査室 佐藤浩司 先生	113名
	小倉鋳物師と琉球鐘	北九州市立自然史・歴史博物館 歴史課長 松井和幸	

### (3) 遺跡見学会 年5回開催

日時	場所	人数
5月23日（土）～5月24日（日）	史跡めぐり旅行（平戸・松浦）	23名
6月21日（日）	新入会員史跡見学会（荻田町・行橋市・築上町）	22名
10月3日（金）～10月5日（日）	遺跡見学会（奈良県飛鳥地方）	36名
11月15日（日）	遺跡見学会（糸島市）	51名
2月14日（日）	遺跡見学会（筑後川・うきは市）	43名

## 16. 資料の収集保存状況

### (1) 自然史課

#### 1) 平成 27 年度資料収集状況

平成 27 年度の自然史資料登録点数は以下のとおりである。

	26 年度末累計	27 年度登録数					27 年度末累計
		寄贈	寄託	購入	採集	小計	
生物系	78,749	157	0	344	10	511	79,260
地学系	34,002	1,117	0	5	0	1,122	35,124
合計	112,751	1,274	0	349	10	1,633	114,384

#### 2) 平成 27 年度収集資料の概要

平成 27 年度の主な収集資料として、さく葉標本 2,300 点、ホッキョクグマ毛皮標本 2 点、ブラジル産メソサウルス化石 5 点、質の良い梅花石標本 1 点などをご寄贈いただいた。このほか、調査により現生無脊椎動物（甲殻類、貝類など）や、北九州空港沖に漂着したマッコウクジラの関連資料、化石（軟体動物ほか）などを数百点採集した。また、市内の関門層群より、白亜紀魚類化石を含む岩石をコンテナ 131 箱分採集した。

### (2) 歴史課

#### 1) 平成 27 年度資料収集状況

平成 27 年度の歴史資料登録点数は以下のとおりである。

	26 年度末累計	27 年度登録数					27 年度末累計
		寄贈	寄託	購入	採集	小計	
歴史系	31,262	2,128	0	35	0	2,163	33,425
考古系	43,900	0	0	0	0	0	43,900
合計	75,162	2,128	0	35	0	2,163	77,325

#### 2) 平成 27 年度収集資料の概要

平成 27 年度には、5 名の個人の方から資料の寄贈を受けた。具体的には戸畑区の方から昭和 37 年の若戸博の記念品など戸畑市政に関わる資料などを、八幡東区の方から男性用の肌着上下セットを、小倉北区の方から小倉飴の包装紙などを、八幡西区の方から郷土民芸の土鈴・絵馬などをご寄贈していただいた。特に土鈴・絵馬は計 2,091 点という膨大なコレクションである。

購入資料は堀切辰一氏が収集した古布資料のうち 33 点と初代小倉藩主小笠原忠政（忠真）および 2 代小倉藩主小笠原忠雄の書状各 1 点である。前者は当館が誇る古布コレクション「襤褸」を充実させ、後者は小倉藩主小笠原家に関わる貴重な古文書資料である。

このほかにも受入・登録を前提として調査・整理を進めている資料が少なからずあり、早期の整理・登録の進展を期したい。



## 17. 資料の特別観覧状況（自然史・歴史）

	担当課	資料名	目的	所属/団体名	閲覧者	人数	観覧日
1	自然史	モンタナ州上部白亜系歯化石	モンタナ州上部白亜系歯化石の研究	福岡大学	梅野綾乃・田上 響	2	H27. 5～H28. 3
2	自然史	関門層群産脊椎動物化石	関門層群産脊椎動物化石の記載	福岡大学	石原雅也・赤司有希・田上 響	3	H27. 5～H28. 3
3	自然史	コモチナデシコ及びイヌコモチナデシコさく葉標本	外来コモチナデシコ類の分類学的検討	自然史友の会	中村 功	1	H27. 5. 12
4	自然史	外来ツクサ類さく葉標本	外来ツクサ類の形態的特徴把握	福岡県農林業総合試験場豊前分場	石丸知道	1	H27. 5. 12
5	自然史	ニホンオオカミ頭骨	ニホンオオカミ標本調査	相模原市立博物館 ボランティア	小川路人	1	H27. 7. 19
6	自然史	ハムシ科甲虫標本（木元コレクション等）	ハムシ科の分類学的研究	森林総合研究所	後藤藤男	1	H27. 7. 28
7	自然史	アリ類標本	アリ類の分類学的研究	元鹿児島大学	山根正気	1	H27. 8. 8～H27. 8. 10
8	自然史	ハムシ科甲虫標本（木元コレクション等）	ハムシ科の分類学的研究	津山市在住	末長晴輝	1	H27. 9. 23
9	自然史	西海市産プロトプレラム類化石	プロトプレラム類化石形態の地域間比較	西海市教育委員会	森 浩嗣	1	H27. 9. 23
10	自然史	貝類標本	貝類標本の整理	福岡県筑後農林事務所南筑後普及指導センター	氏野 優	1	H28. 3. 30
11	歴史	伝久野重勝所用兜（鉄鍔地三枚張南蛮兜）	自著『異形の兜と立物』（宮帯出版社から本年に刊行予定）に掲載するため		宮崎隆旨	1	H27. 5. 20
12	歴史	松本遺跡出土小銅鐸鋳型	弥生青銅器の研究のため	國學院大學	柳田康雄	1	H27. 8. 5
13	歴史	長行遺跡出土土器 2点	農耕の起源に関する研究のため	徳島大学	中村 豊	3	H27. 8. 21
14	歴史	伝岩戸山古墳出土土器台 2点	研究のための実見	福岡大学	原田真祐子	1	H27. 9. 11
15	歴史	中間市御館山山麓出土磨製石剣 2点 京都郡今川村天生田出土磨製石剣 1点	学術論文作成のための実見	島根大学	平野達哉	2	H28. 2. 16
16	歴史	「小倉藩土屋敷絵図」1点	江戸時代の武家屋敷の資料確認のため		藤田芳隆	1	H28. 2. 17
17	歴史	辻田遺跡出土旧石器	九州島における中期旧石器の研究のため	東北芸術工科大学	長井謙治	1	H28. 3. 3

## 18. 資料の貸出状況（自然史・歴史）

	担当課	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	自然史	イヌ骨格標本	1	産業医科大学 菊田彰夫	解剖学実習にける教育用比較標本としての利用	H27. 4. 1～H28. 3. 31
2	自然史	宗像石	1	海の道むなかた館	常設展特設コーナーでの展示	H27. 4. 1～H28. 3. 31
3	自然史	ハムシ科標本	189	Dr. Chi-Feng Lee (Applied Zoology Division, Taiwan Agricultural Research Institute)	ハムシ科の分類学的研究	H27. 4. 1～H28. 3. 31
4	自然史	コノハチョウ(4点)およびシジミチョウ(4点)	8	進化生物学研究所 中村紀雄	蝶類の分類学的研究	H27. 4. 1～H28. 3. 31
5	自然史	海外産ウニ化石・北九州市産ウニ化石・兵庫県産ヒトデ化石・北九州市産カニ化石(各1点)	4	三笠市立博物館	特別展「すごいぞ!化石」での展示	H27. 5. 19～10. 30
6	自然史	白亜紀産イカ類およびタコ類化石のレプリカ(各1点)	2	羽幌町教育委員会	羽幌町郷土資料館で展示	H27. 6. 11～H28. 3. 31
7	自然史	<i>Drepanaspis</i> sp., <i>Pterichyodes</i> sp., <i>Cladoseleache</i> sp., <i>Edestus</i> sp., <i>Yamatocetus canaliculatus</i> (各1点)	5	佐賀県立宇宙科学館	夏の特別展「海王展-海の支配者たちの系譜」での展示	H27. 6. 19～10. 31
8	自然史	ケツアルコアトルス生体復元	1	豊橋市自然史博物館	特別展「天空を制した巨大恐竜と鳥たち」での展示	H27. 6. 30～9. 10
9	自然史	アノマノカリス生体復元・ショニサウルス生体復元(各1点)	2	読売新聞大阪本社事業部	メガ恐竜展での展示	H27. 7. 1～9. 15
10	自然史	ガムシ科ツヤヒラタガムシ属パラタイプ標本	42	Dr. Albrecht Komarek (Naturhistorisches Museum Wien)	ガムシ科の分類学的研究	H27. 7. 20～H28. 3. 31

11	自然史	アロサウルス頭骨レプリカ・スピノサウルス上顎レプリカ・テリジノサウルス前肢レプリカ・バキケファロサウルス頭骨レプリカ・竜脚類大腿骨レプリカ・尾羽竜立体復元・ズンガリプテルス地上姿勢復元・ケアラダクティルス類産状レプリカ (各1点)	8	長崎市科学館	夏の特別展「恐竜展」での展示	H27.7.26～9.26
12	自然史	プロバクトロサウルス頭骨レプリカおよび恐竜の卵化石レプリカ	一式	ハンズカフェ福岡パルコ店	当館とのコラボレーション企画での展示	H27.8.10
13	自然史	ウシ頭蓋骨標本・ニホンジカ頭蓋骨標本・ヒツジ頭蓋骨標本 (各1点)	3	北九州市立美術館	サマーアートスクール「もしも自分に角が生えたなら!？」での使用	H27.8.17～8.20
14	自然史	<i>Araripelepiotes temnurus</i> (魚類化石)	1	薩摩川内市	第30回国民文化祭・かごしま2015に伴う展示	H27.9.1～H28.3.31
15	自然史	芦屋層群産化石	10	北九州市立江川小学校	授業での利用	H27.10.21～11.20
16	自然史	ガムシ科ツヤヒラタガムシ属標本	102	Dr. Albrecht Komarek (Naturhistorisches Museum Wien)	ガムシ科の分類学的研究	H27.12.2～H28.3.31
17	自然史	ガムシ科 <i>Spercheus</i> 属標本	2	東海大学 北尾 忠	<i>Spercheus</i> 属の分類学的研究	H27.12.5～H28.3.31
18	自然史	マウソニア・ラボカティ	1	国立科学博物館	国立科学博物館 特別展「恐竜博2016」での展示	H28.2.15～H28.6.20
19	自然史	ティラノサウルス頭骨レプリカ	1	Tジョイ博多	映画「アーロと少年」と当館とのコラボレーション企画での展示	H28.3.19～4.9
20	自然史	スピノサウルス類歯化石、ティラノサウルス歯レプリカ、ティラノサウルス1/6スケール頭骨模型	3	小倉昭和館	当館と小倉昭和館とのコラボレーション企画での展示	H28.3.19～4.9
21	自然史	宗像市産哺乳類(コリフォドン類)化石	14箱	福井県立恐竜博物館 宮田和周	新生代における絶滅哺乳類相の研究	H28.3.20～H29.3.29
22	歴史	毛抜威胴丸具足(小笠原忠真所用、福聚寺所蔵、北九州市指定文化財)	1	大阪城天守閣	「大坂の陣400年記念特別展 豊臣と徳川」への出陣のため	H27.3.21～5.10
23	歴史	「山本作兵衛炭鋳記録画(原画)」坑内・坑外各1点、「山本作兵衛炭鋳記録画(複製)」坑内・坑外各1点、「若松市鳥瞰図」「まぶべこ(女炭鋳夫坑内腰巻)」「堀切辰一時代布コレクションNo.1662」「安川敬一郎日記」(巻三、巻十一)各1点	8	山本作兵衛の世界実行委員会(福岡市博物館)	福岡市博物館「山本作兵衛の世界」展での展示	H27.6.6～7.26
24	歴史	西大山笠永久寄託 祠(山笠台座に設置)	1	戸畑祇園西大山笠 総代表 川岸達也	「戸畑祇園大山笠行事」用具整備のため	H27.6.15～8.1
25	歴史	「長迫古墳出土横刃板鋳留短甲」(当館寄託資料、九州大学考古学研究室蔵)	1	行橋市教育委員会	行橋市歴史資料館平成27年度特別展「稲童古墳群」展で展示するため	H27.7.17～12.4
26	歴史	「松本遺跡出土 鋳型 1点」	1	下関市立考古博物館	下関市立考古博物館開館20周年記念特別展「綾羅木郷遺跡とその時代、環濠集落事始め」展で展示するため	H27.9.1～11.30
27	歴史	[長崎街道図]「許山文書363」	1	八幡西区役所	八幡西区主催「黒崎宿・街道フォーラム」(会場:ひびしんホール)での展示のため	H27.9.19～9.20
28	歴史	伝岩戸山古墳出土 須恵器器台 2点	2	高槻市教育委員会(高槻市立今城塚古代歴史館)	今城塚古代歴史館開館五周年記念特別展「継体大王と筑紫君磐井」に伴う展示	H28.3.12～5.8
29	歴史	宮原遺跡出土 石包丁 B-31	1	大阪府立弥生文化博物館	大阪府立弥生文化博物館の常設展示及び収蔵展示のため	H28.4.1～H29.3.31

## 19. 画像等資料の貸出状況 (自然史・歴史)

	担当課	資料名	点数	貸出先	使用目的	申請日
1	自然史	白亜紀イカ類化石標本及び復元画(各1点)	2	誠文堂新光社	子供の科学ウェブサイトに「こかねっと!」への掲載	H27.4.10
2	自然史	シノサウロプテリクス標本画像	1	日本地質学会	学会広報誌「ジオルジュ」の記事「鮮やかによみがえる中生代の世界?恐竜の色は何色だったのか?」への掲載	H27.4.22
3	自然史	白亜紀産イカ類・タコ類化石の標本画像及び復元図(各1点)	4	羽幌町教育委員会	羽幌町郷土資料館での展示	H27.6.11
4	自然史	パラサウロロフス下顎内側および前面画像・トリケラトプス頭骨前面画像(各1点)	3	読売新聞大阪本社	特別展「メガ恐竜展」の図録への掲載	H27.6.17

5	自然史	下関市産恐竜足跡化石画像	2	山口県立美術館・山口県立博物館	企画展「恐竜戦国時代の覇者 世界大恐竜展」での解説パネルに使用	H27. 6. 30
6	自然史	マレーヒョケザル生態画像	5	豊橋市自然史博物館	特別展「天空を制した巨大恐竜と鳥たち」での展示	H27. 6. 30
7	自然史	リボンカゲロウ標本画像	1	テレビ朝日	テレビ番組「くりいむクイズミラクル9」での使用	H27. 7. 20
8	自然史	北九州市産角竜類歯化石画像	1	エー・アール・ティ	月刊「九州王国」9月号への掲載	H27. 7. 29
9	自然史	ナウマンゾウ骨格レプリカ画像	1	アフロ	「中学教科書ワーク理科1年(分理刊)」への掲載	H27. 8. 24
10	自然史	マウソニア・ラボカティ標本画像	1	エヌ・アンド・エス企画	「海の学習」第4巻(講談社刊)への掲載	H27. 10. 28
11	自然史	三葉虫・アンモナイト・サメの歯標本画像	3	第一学習社	「高等学校改訂地学基礎」への掲載	H27. 11. 26
12	自然史	プロトプテルム類復元骨格画像	1	西海市教育委員会	西海市産プロトプテルム類の展示資料	H28. 1. 7
13	自然史	パレオディクティオプテラレプリカ画像	1	小学館	ウィークリーこども百科「ワンダーキッズペディア」第2巻への掲載	H28. 2. 4
14	自然史	ヤマトケタスタイク標本画像	1	技術評論社	「古第三紀・新第三紀・第四紀の生物」上巻への掲載	H28. 2. 26
15	自然史	アンモナイト標本画像	1	第一学習社	「高等学校改訂生物基礎」への掲載	H28. 3. 1
16	自然史	ドレパナスビス(魚類化石)標本画像	1	豊田ホタルの里ミュージアム	企画展「下関のヤツメウナギ」での展示パネル及び関連冊子への掲載	H28. 3. 30
17	歴史	小田宅子夫妻肖像(当館寄託資料・個人蔵)	1	信濃毎日新聞社	堀井正子氏の著書『出会いの寺 善光寺』への掲載	H27. 4. 9
18	歴史	小倉藩土屋敷絵図(当館所蔵)	1	北九州市役所総務企画局	ポータルサイト G-motty, G-motty Mobile での配信のため	H27. 5. 25
19	歴史	小倉藩土屋敷絵図(当館所蔵)	1	株式会社ビデオシネーションキュー	テレビ西日本「もち浜ストアアタ方版」にて放送するため	H27. 6. 3
20	歴史	引札「豊前企救郡藍嶋沖白洲燈台」(「岩松文書」660)	1	公益財団法人アクロス福岡	『アクロス福岡情報雑誌』平成27年9月号、「福岡クリエイター人物列伝 岩松助左衛門」に掲載のため	H27. 6. 9
21	歴史	「木綿地寄せ縫いはんてん」「木綿地もんぺ」「木綿地一つ身単衣着物」	3	公益財団法人渋沢栄一記念財団	『青淵』2015年8月号 堀切辰一氏論稿に掲載するため	H27. 6. 10
22	歴史	「長迫古墳出土横板板鋸留短甲」(当館寄託資料、九州大学考古学研究室蔵)	1	行橋市教育委員会	行橋市歴史資料館平成27年度特別展「稲童古墳群」展図録・展示パネルに掲載	H27. 6. 11
23	歴史	「ぎおん踊」部分(「豊国名所」)	1	TVQ九州放送	TVQ「おとななテレビ」番組内での小倉祇園太鼓の紹介用資料	H27. 7. 17
24	歴史	小笠原忠政(忠真)肖像画(当館寄託資料・広寿山福聚寺所蔵)	1	㈱ウェッジ	加唐亜紀著『新幹線から見える日本の名城』掲載のため	H27. 8. 14
25	歴史	デジタルデータ「箱膳」「千歯こき」「唐箕」「鉾」「馬鉾」「川ひらた展示風景」「台所」「民家」「手斧」	9	理論社	ゆのきようこ著『木と日本人①材木・丸太と板』掲載のため	H27. 8. 31
26	歴史	「板絵著色木屋瀬宿図絵馬」(改盛町町内会所蔵・当館寄託)、「長崎街道図」(「許山文書363」・当館所蔵)、「元禄十二年若松附近古絵図(写)」(当館所蔵)	3	八幡西区役所	八幡西区主催「黒崎宿・街道フォーラム」(会場：ひびしんホール)でのパネル展示のため	H27. 9. 12
27	歴史	堀切辰一コレクション 襦袢 31点	31	Rowman & Littlefield Publishers 社	堀切辰一『布のいのち』新科学出版社2004年の英訳本に掲載するため	H27. 10. 7
28	歴史	【県指定】「木造釈迦如来立像」1軀、【県指定】「木造金剛力士像」2軀、【県指定】「木造如意輪観坐像」1軀(大興善寺)	4	株式会社ゼンリンプリントックス	小倉南区役所総務企画課「小倉みなみ物語～歴史と文化の映像アーカイブ～」DVD・写真集に掲載するため	H27. 11. 27
29	歴史	伝岩戸山古墳出土 須恵器器台 2点	2	高槻市教育委員会(高槻市立今城塚古代歴史館)	今城塚古代歴史館開館五周年記念特別展「継体大王と筑紫磐井」に伴う図録・パネル掲載等のため	H27. 12. 3
30	歴史	引札「豊前企救郡藍嶋沖白洲燈籠堂図」(当館所蔵「岩松文書」660)	1	一般社団法人京都大学出版会	谷川竜一著『灯台から考える海の近代』(シリーズ 情報とフィールド科学2)カラー図版掲載のため	H28. 1. 13
31	歴史	天秤2組(福岡県指定文化財・当館所蔵)	2	新潮社	岩村 充著『続・貨幣進化論』(新潮選書)掲載のため	H28. 1. 14
32	歴史	「村田出羽吉次画像」「堀平右衛門正備(定則)画像」(当館所蔵「黒田二十四騎画像」)	2	筑前町教育委員会	『筑前町史』(平成28年3月刊行予定)に掲載するため	H28. 2. 25
33	歴史	「小笠原忠真肖像画」「小笠原忠雄肖像画」(広寿山福聚寺所蔵・当館寄託)	2	福智町	上野焼紹介パンフレット、及び福智町合併10周年記念パンフレットに掲載するため	H28. 3. 17
34	歴史	「遠賀郡往還図」(当館所蔵「許山文書」363「長崎街道図」)	1	八幡西区役所	八幡西区役所制作予定の「東構口」案内板に画像を掲載するため	H28. 3. 29

## 20. 学芸員研究業績（自然史）

### （1）論文・著書など

- Nakanishi, A., Yoshimaru, H., Tomaru, N., Miura, M., Manabe, T. and Yamamoto, S. (2015) Inbreeding depression at the sapling stage and its genetic consequences in a population of the outcrossing dominant tree species, *Castanopsis sieboldii*. *Tree Genetics & Genomes*, 11, 62 (pp.10).
- Do, V. T., Sato, T., Saito, S., Kozan, S., Yamagawa, H., Nagamatsu, D., Nishimura, N. and Manabe, T. (2015) Effects of micro-topographies on stand structure and tree species diversity in an old-growth evergreen broad-leaved forest, southwestern Japan. *Global Ecology and Conservation*, 4, 185–196.
- 伊東啓太郎・藤田直子・真鍋 徹・須藤朋美・花田有里絵・板垣早香 (2015) 北部九州における自然景観・文化景観. *景観生態学*, 20, 149–154.
- Saito, N. and Shimomura, M. (2015) A new abdominally parasitizing bopyrid, *Anisarthrus okunoi* sp. nov. (Crustacea: Isopoda), infesting the hinge-beak shrimp *Rhynchocinetes uritai* Kubo, 1942 (Crustacea: Decapoda: Rhynchocinetidae). *Species Diversity*, 20, 37–43.
- Shimomura, M. and Naruse, T. (2015) Two new species of Asellota (Crustacea, Isopoda) from coral reefs on Iriomote Island, Okinawa, Japan. *ZooKeys*, 520, 7–40.
- 下村通誉・布村 昇 (2014–2015) 日本産等脚目甲殻類の分類(27)–(32). *海洋と生物* (隔月掲載, 6回分).
- Soga, M., Kawahara, T., Fukuyama, K., Sayama, K., Kato, T., Shimomura, M., Itoh, T., Yoshida, T. and Ozaki, K. (2015) Landscape versus local factors shaping butterfly communities in fragmented landscapes: Does host plant diversity matter? *Journal of Insect Conservation*, 19(4), 781–790.
- Nakano, H., Kakui, K., Kajihara, H., Shimomura, M., Jimi, N., Tomioka, S., Tanaka, H., Yamasaki, H., Tanaka, M., Izumi, T., Okanishi, M., Yamada, Y., Shinagawa, H., Sato, T., Tsuchiya, Y., Omori, A., Sekifuji, M. and Kohtsuka, H. (2015) JAMBIO coastal organism joint surveys reveals undiscovered biodiversity around sagami Bay. *Regional Studies in Marine Science*, 2, 77–81.
- Nazarkin, M. V. and Yabumoto, Y. (2015) New fossils of Neogene pricklebacks (Actinopterygii: Stichaeidae) from East Asia. *Zoosystematica Rossica*, 24 (1), 128–137.
- 井田 齊・松浦啓一 (監修・執筆)・藍澤正宏・岩見哲夫・萩原清司・藪本美孝・朝日田卓・成澤哲夫 (指導・執筆) (2015) 小学館の図鑑 NEO 新版魚. 207 pp. 小学館, 東京.
- 杉野広利・太田泰弘・原賀いずみ・花田秀揮・高橋俊吾・大橋直子・森 三保・加藤久美子・八百屋さやか・大澤得二・白川正樹・浦田健作・森ふさ恵・富永重稔・葉山 彰・船井泰乃・宮田 薫 (2016) 北九州ジオパーク構想の普及推進事業を継続した活動実績. *ジオ&バイオ研究会報告書*, 5, 1–48.
- Suga, K., Yui, T. -F., Shellnutt, J. G., Wo, T. -W., Mori, Y., Miyazaki, K. and Jahn, B. -M. (2015) Nd–Sr isotopic constraint to the formation of metatexite and diatexite migmatites, Higo metamorphic terrane, central Kyushu, Japan. *International Geology Review*, 58, 405–423.
- 井浦 一・森 康・石橋秀巳 (2015) 福岡県津屋崎古墳群に用いられた玄武岩石材の供給地. *九州考古学*, 90,

41–60.

- Tanabe, K., Tsujino, Y., Okuhira, K. and Misaki, A. (2015) The jaw apparatus of the Late Cretaceous heteromorph ammonoid *Pravitoceras*. *Journal of Paleontology*, 89, 611–616.
- Barrett, P. and Ohashi, T. (2016) Ornithischian dinosaur material from the Kuwajima Formation (Tetori Group) of Ishikawa Prefecture, Japan. *Historical Biology*, 28, 279–287.
- Minoshima, Y. N. and Hayashi, M. (2015) Description of the larval stages of berosine genera *Berosus* and *Regimbartia* (Coleoptera, Hydrophilidae) based on Japanese *B. japonicus* and *R. attenuata*. *Acta Entomologica Musei Nationalis Pragae*, 55 (1), 47–83.
- Minoshima, Y. N., Fikáček, M., Gunter, N. and Leschen, R. A. B. (2015) Larval morphology and biology of New Zealand-Chilean genera *Cylomissus* Broun and *Anticura* Spangler (Coleoptera: Hydrophilidae: Rygmodinae). *Coleopterists Bulletin*, 69 (4), 687–712.
- Minoshima, Y. N., Yamane, S. and Ueno, T. (2015) An invasive alien hornet, *Vespa velutina nigrithorax* du Buysson (Hymenoptera, Vespidae), found in Kitakyushu, Kyushu Island: a first record of the species from mainland Japan. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 21 (2), 259–261.
- Fikáček, M., Ryndevich, S., Minoshima, Y. N. and Prokin, A. (2015) New Nomenclatural and Taxonomic Acts, and Comments, Hydrophilidae. In: Löbl, I. and Löbl, D. (Eds.), *Catalogue of Palaearctic Coleoptera Volum 2, Revised and Updated Edition, Hydrophiloidea - Staphylinoidea*. Brill, Leiden, p. 1.
- Fikáček, M., Angus, R. B., Gentili, E., Jia, F. -L., Minoshima, Y. N., Prokin, A., Przewoźny, M. and Ryndevich, S. K. (2015) Family Helophoridae Leach, 1815. In: Löbl, I. and Löbl, D. (Eds.), *Catalogue of Palaearctic Coleoptera Volum 2, Revised and Updated Edition, Hydrophiloidea - Staphylinoidea*. Brill, Leiden, pp. 25–33.
- Fikáček, M., Angus, R. B., Gentili, E., Jia, F. -L., Minoshima, Y. N., Prokin, A., Przewoźny, M. and Ryndevich, S. K. (2015) Family Hydrochidae Thomson, 1859. In: Löbl, I. and Löbl, D. (Eds.), *Catalogue of Palaearctic Coleoptera Volum 2, Revised and Updated Edition, Hydrophiloidea - Staphylinoidea*. Brill, Leiden, pp. 35–36.
- Fikáček, M., Angus, R. B., Gentili, E., Jia, F. -L., Minoshima, Y. N., Prokin, A., Przewoźny, M. and Ryndevich, S. K. (2015) Family Hydrophilidae Latreille, 1802. In: Löbl, I. and Löbl, D. (Eds.), *Catalogue of Palaearctic Coleoptera Volum 2, Revised and Updated Edition, Hydrophiloidea - Staphylinoidea*. Brill, Leiden, pp. 37–76.
- 蓑島悠介・林 成多 (2016) オオトゲバゴマフガムシの島根県・岡山県からの記録. さやばねニューシリーズ, 21, 7.

## (2) 学会等講演

- 伊東啓太郎・須藤朋美・川添 祐・真鍋 徹 (2015) 都市における生物多様性保全と環境学習を目的とした環境デザイン—北九州市夜宮公園めぐり坂池における環境マネジメントの評価と課題—. 日本景観生態学会第 25 回大会. 九州工業大学.

- 西村尚之・菊池明日香・赤路康朗・原登志彦・隅田明洋・長谷川成明・小野清美・加藤京子・坂本圭児・松井 淳・真鍋 徹・鈴木智之 (2016) 北方林における優占針葉樹 3 種の肥大生長に関する樹種特性. 日本生態学会第 63 回全国大会. 東北大学.
- 下村通誉 (2015) 日本産ミズムシ亜目の多様性と分類. 日本甲殻類学会第 53 回大会自由集会 (招待講演). 東京海洋大学.
- 下村通誉 (2015) 相模湾産等脚目甲殻類の分類学的研究と等脚類の多様な生態・形態. 日本動物学会第 86 回大会シンポジウム (招待講演). 朱鷺メッセ, 新潟.
- 下村通誉・大塚 攻 (2015) アミ類 *Rhopalophthalmus* に寄生するアミヤドリムシ科等脚類の 1 種. 日本動物分類学会第 50 回大会. 広島大学.
- 宮田真也・藪本美孝 (2015) 山口県古第三紀宇部層群産スズキ魚類の予察的再検討. 日本古生物学会 2015 年会. 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 藪本美孝・Mikhail V. Nazarkin (2016) 長野県埴科郡坂城町産中新世ニシン科魚類について. 日本古生物学会第 165 回例会. 京都大学.
- 宮田真也・藪本美孝 (2016) 秋田県能代市の中新世女川層から産出したアジ科魚類. 日本古生物学会第 165 回例会. 京都大学.
- 太田泰弘・久下洋一 (2015) 平尾台の保護の歴史に見る先進的取り組みとジオパーク活動による活用. 日本地質学会第 122 年学術大会. 信州大学.
- 太田泰弘・佐野弘好・杵山哲男 (2015) 岐阜県山県市円原地区の美濃帯石灰岩から産出した巻の解けた微小なフズリナ類について (続報). 日本地質学会第 122 年学術大会. 信州大学.
- 太田泰弘・野井英明 (2015) 化石産地を活用した天然資源の有用性の教育普及. 福岡県環境教育学会第 18 回年会. 福岡教育大学.
- 野井英明・太田泰弘・梅崎恵司 (2015) 貫・曾根地域—環境教育のフィールドとしての可能性. 福岡県環境教育学会第 18 回年会. 福岡教育大学.
- 森 康・佐藤浩司・坪根伸也・稗田智美・今塩屋毅行・龍 孝明・小田裕樹 (2015) 古代物流経路の推定を目的とした土師器の非破壊蛍光 X 線分析: 企救型甕の例. 日本地質学会第 122 年学術大会. 信州大学.
- 重野未来・森 康・川本竜彦・西山忠男 (2015) ヒスイ輝石岩の流体包有物の塩濃度～深さによる違いは見られるか? ～. 2015 年日本鉱物科学会年会. 東京大学.
- 椎原航介・長谷中利昭・安田 敦・外西奈津美・森 康 (2015) 大峰スコリア中のメルト包有物の化学組成: 阿蘇-4 火砕噴火直前のマグマ供給系. 国際火山噴火史情報研究集会. 福岡大学.
- 川口允孝・長谷中利昭・弥頭隆典・玉井佑弥・望月伸竜・森 康 (2015) 阿蘇中央火口丘群北西部完新世火山噴出物の組成変化: 磁気層序との対比. 国際火山噴火史情報研究集会. 福岡大学.
- 棚部一成・御前明洋・辻野泰之・Kruta Isabelle・Landman Neil H. (2015) 後期白亜紀異常巻きアンモナイト類の顎器形態とその分類学・古生態学的意義. 日本古生物学会 2015 年年会. 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 御前明洋 (2016) 日本産白亜紀軟体動物化石表面の付着生物とその意義. 日本古生物学会第 165 回例会. 京都大学.
- 西村智弘・御前明洋・重田康成・小原正顕・前田晴良 (2016) 北太平洋地域白亜紀末アンモナイト *Damesites hetonaiensis* Matsumoto. 日本古生物学会第 165 回例会. 京都大学.

大橋智之 (2016) ブラジル下部白亜系クラトール層から産出した鳥類化石. 日本古生物学会第 165 回例会. 京都大学.

蓑島悠介 (2015) パソコンを用いた昆虫形態スケッチの作成. 日本昆虫学会第 75 回大会. 九州大学.

### (3) 外部資金取得状況

#### 【文部科学省科学研究費補助金】

基盤研究 (C). 自然・文化景観から人と自然との関わりを現出するための新たな研究手法の構築. 研究代表者: 真鍋 徹. 研究分担者: 富岡優子、中西義昌、御前明洋. 2014-2017 年度.

基盤研究 (C). 日本産魚類化石による魚類分岐年代解析と魚類化石データベース構築に関する研究. 研究代表者: 藪本美孝. 2014-2017 年度.

基盤研究 (C). ヒスイ輝石岩に含有されたスラブ起源流体の塩濃度. 研究代表者: 重野未来, 研究分担者: 森 康. 2015-2017 年度.

基盤研究 (C). 脊椎動物における嘴の機能と深化. 研究代表者: 田上 響, 研究分担者: 大橋智之. 2015-2017 年度.

挑戦的萌芽研究. 宿主によって形を変える寄生虫は存在するか?. 研究代表者: 下村通蒼. 2015-2017 年度.

若手研究 (B). 付着生物を鍵とした化石軟体動物の古生態の解明と中生代海洋環境の復元. 研究代表者: 御前明洋. 2013-2015 年度.

若手研究 (B). 自然史系博物館における恐竜を用いた、研究を迫体験できる体系的な触れる展示の構築. 研究代表者: 大橋智之. 2014-2016 年度.

#### 【その他の補助金】

一般財団法人斉藤報恩会学術研究助成. 日本産水生ガムシ科の系統分類学的研究. 研究代表者: 蓑島悠介. 2015 年度.

日本海洋科学振興財団船の科学館「海の学びミュージアムサポート」プログラム 3. シーラカンスに関する進化生物学的研究. 研究代表者: 藪本美孝. 2015 年度.

## 2 1. 学芸員研究業績 (歴史)

### (1) 論文・著書など

松井和幸 (2016) 「弥生時代鉄製錬の可能性—熊本県阿蘇のリモナイト」『(仮称) 考古学研究室開設 50 周年記念論文集』広島大学文学部考古学研究編

松井和幸・宮元香織 (2016) 「八幡高校寄贈資料の紹介」『北九州市立自然史・歴史博物館研究紀要 B 類 歴史』13 号 2016 年 (pp. 1~11)

伊藤幸司・永島広紀・日比野利信編著 (2015) 『寺内正毅と帝国日本 桜園寺内文庫が語る新たな歴史像』勉誠出版、(pp. 1~296)

日比野利信 (2015) 「陸軍長州閥と寺内正毅」『寺内正毅と帝国日本 桜園寺内文庫が語る新たな歴史像』勉誠出版、(pp. 27~44)

日比野利信 (2015) 「布は何を語るのか—堀切辰一コレクション「襤褸」の可能性—」『堀切辰一コレクション時代布目録 襤褸』続編第三巻 北九州市立自然史・歴史博物館、(pp. 204~207)

日比野利信 (2016) 「「産業革命遺産」展示の可能性」『全科協 NEWS』46-1 全国科学博物館協議会、(pp. 8~9)

上野晶子 (2015) 「江戸幕府の編纂事業における「厚生新編」と蘭学の「公学」化」(松方冬子編『日蘭関係史をよみとく』上巻 (pp. 250~284)

守友 隆 (2015) 「幕末期博多の対馬藩蔵屋敷についての一考察」『福岡地方史研究』第 53 号 (pp. 51~66)

守友 隆 (2016) 「黒崎宿と秋月藩黒田家」『地方史ふくおか』第 159 号 (pp. 4~5)

守友 隆 (2016) 「慶長 5 年 (1600) 柳川合戦 (八院・江上表の合戦) に関する研究—佐賀鍋島氏と柳川立花氏の「関ヶ原」局地戦の語られ方—」『公益財団法人鍋島報効会研究助成研究報告書』第 7 号 (pp. 73~104)

守友 隆 (2016) 「長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵「上使小笠原大膳大夫様御下向記録」と北九州市立自然史・歴史博物館所蔵「対州御用自他問答」の紹介」『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告』B 類第 13 号 (pp. 60 (1) ~13 (48))

守友 隆 (2016) 「第 5 編近世第 1 章 豊臣秀吉の九州平定」、「第 2 章 福岡藩と秋月藩の成立」、「第 4 章 第 5 節 博多・黒崎・八反田の秋月藩蔵屋敷」、「第 8 章 街道と宿場」『筑前町史』(pp. 357~363、366~378、403~409、437~445)

中西義昌 (2015) 「縄張り研究から近世城郭を捉える」『中世城郭研究』第 29 号 (pp. 258~267)

中西義昌 (2015) 「黒田孝高の九州上陸と筑前浅川城」『福岡地方史研究』第 53 号 (pp. 114~119)

## (2) 外部資金取得状況

### 【文部科学省科学研究費補助金】

若手研究 (B). 幕末における海外文化の収集活動と翻訳について. 研究代表者: 上野晶子. 2013-2015 年度.

若手研究 (B). 九州を中心とする仏涅槃図の基礎的研究. 研究代表者: 富岡優子. 2014-2017 年度.

若手研究 (B). 近世後期・幕末維新时期日朝間における海外事件情報流通の研究—対馬藩宗家史料を中心に. 研究代表者: 守友 隆. 2015-2017 年度.

基盤研究 (C). 自然・文化景観から人と自然との関わりを現出するための新たな研究手法の構築. 研究分担者: 富岡優子、中西義昌 (代表者: 真鍋 徹). 2014-2017 年度.

## 2.2. 博物館刊行物

### (1) 研究報告 A 類 自然史 第 14 号 (2016 年 3 月 31 日発行)

Yoshihiko Okazaki. The first report of fossil teeth of *Heteroptychodus* (Hybodontiformes: Elasmobranchii) from the Lower Cretaceous Kanmon Group in Fukuoka Prefecture, northern Kyushu, Japan. pp. 1-8. [岡崎美彦. 関門層群からの淡水性板鰐類 *Heteroptychodus* の産出. pp. 1-8]

Teruo Irie. A new species of the genus *Falcileptoneta* Komatsu (Araneae, Leptonetidae) from Shikoku, Japan. pp. 9-12. [入江照雄. 四国産ヨコフマシラグモ属の 1 新種. pp. 9-12]

Takashi Yokochi. A note on the genus *Tanaecia* Butler, 1869 (Lepidoptera, Nymphalidae, Adoliadini), distributed in South East Asia (Part 1). pp. 13-31. [横地 隆. 東南アジアに分布する *Tanaecia* 属の分類学的ノート (1). pp. 13-31]

### (2) 研究報告 B 類 歴史 第 13 号 (2016 年 3 月 31 日発行)

#### 【資料紹介】

松井和幸・宮元香織 「福岡県立八幡高等学校寄贈資料」 (pp. 1-11)

守友 隆 「長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵「上使小笠原大膳大夫様御下向記録」と北九州市立自然史・歴史博物館所蔵「対州御用自他問答」の紹介」 (pp. 12-60)

### (3) 資料集・目録

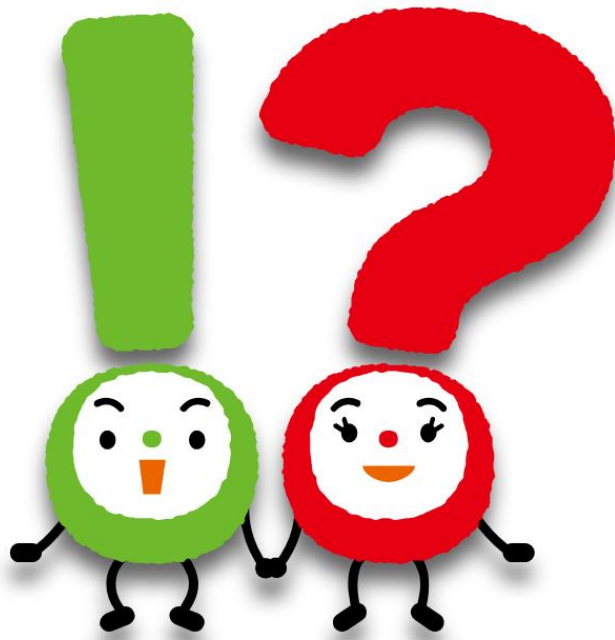
『堀切辰一コレクション 時代布目録 襦袢』続編第 3 巻 (2015 年 12 月 20 日発行)



年 報  
平成 27 年度

---

発 行 日 平成●●年●月●●日  
編集・発行 北九州市立自然史・歴史博物館  
北九州市八幡東区東田 2-4-1  
TEL 093-681-1011  
FAX 093-661-7503  
<http://www.kmnh.jp>  
北九州市印刷物登録番号 第●●●●●●号  
印刷・製本 ●●●●●●



北九州市立 自然史・歴史博物館

いのちのたび博物館

KITAKYUSHU MUSEUM OF NATURAL HISTORY & HUMAN HISTORY